平成 30 年度

# 事　業　報　告　書

社会福祉法人

寝屋川市社会福祉協議会

# 目　次


平成30年度事業の総括 …… 1
１．小地域福祉活動推進事業 …… 2
２．まちかど福祉相談所拡充事業 …… 8
３．緊急時安否確認（かぎ預かり）事業 …… 13
４．ボランティアセンター事業 …… 15
５．福祉教育推進事業 …… 22
６．当事者組織支援事業 …… 26
７．家族介護者交流事業 …… 30
８．献血推進事業 …… 31
９．福祉有償運送事業 …… 32
１０．車イス貸出し事業 …… 37
１１．元気アップ介護予防ポイント事業 …… 38
１２．救急医療情報キット普及事業 …… 40
１３．福祉総合相談事業 …… 41
１４．赤い羽根共同募金事業 …… 43
１５．歳末たすけあい運動事業 …… 45
１６．広報事業 …… 49
１７．調査・研究事業 …… 51
１８．地域包括支援センター事業 …… 54
１９．生活困窮者自立支援事業 …… 65
２０．生活福祉資金貸付事業 …… 71
２１．生活緊急支援金給付事業 …… 73
２２．日常生活自立支援事業 …… 74
２３．善意銀行事業 …… 77
２４．法人運営・基盤強化事業 …… 78
２５．研修事業 …… 88
２６．福利厚生事業 …… 90
２７．大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営 90
２８．第２次地域福祉活動計画
『未来福祉ねやがわプラン』の推進 91
２９．災害被災地支援活動 …… 93

## 本文や表中表記の見方

- 本文の表中にある「△」標記は、マイナスを示します。
- 本文の表中にある(△7)等のカッコを付けた数字表記は、前年実績と比較しての増減を示します。
  例えば、表のひとつの枠内に8(△5)とある場合は、平成30年度実績が「8」で、前年実績と比べて「マイナス5」であることを示しています。
- 同じく表中で使用する「－」表記はゼロを指します。
  例えば、表のひとつの枠内に6(－)とある場合は、平成30年度実績が6で、前年実績も6であったため、前年比がゼロであったことを示しています。
- 本文にある「V」は「ボランティア」の略字です。
- 本文にある「VC」は「ボランティアセンター」の略字です。
- 本文にある「CSW」は「コミュニティソーシャルワーカー」の略字です。

# 平成30年度事業の総括

## 1　おもな成果

(1)　「未来福祉ねやがわプラン（第２次地域福祉活動計画）」に基づき、計画の進捗管理を行う推進委員会や、新たな仕組みづくりに向けた企画を行う「未来福祉デザイン会議」を開催し、大学生などの若者を対象に「福祉・ボランティアの層や輪を広げる」ことを目的とした「しゃべり場」を実施しました。

(2)　校区福祉委員長協議会で、見守り活動の現状や課題を出し合うなかで、災害時に備えた関係づくりや、災害時における安否確認の報告・対応について検討を行いました。

(3)　民生委員児童委員や校区福祉委員、障害者など災害要配慮者が、もしもの災害に備えた地域づくり講座に参加し、「マイ防災プラン」づくりを通じて災害時における問題や地域の課題について話し合い、情報共有を行いました。

(4)　社会福祉協議会をもっと広く、若い世代にも知ってもらうことを目的に、ソーシャルネットワークサービス（SNS）の公式ページを立ち上げ、運営を開始しました。

## 2　課　題

(1)　見守り活動の現状や課題などを明らかにし、要配慮者などの見守り活動の対象者の拡大や方法について検討していく必要があります。

(2)　高齢者の社会参加や介護予防をすすめていくため、多種多様な活動や居場所、地域での支え合う仕組みを作る必要があります。

(3)　社会福祉協議会の会費や共同募金の減少、また、大阪北部地震による総合センター閉館に伴い、自主財源の収入が減少したため、財源確保に関する取り組みについて調査、研究を行う必要があります。また、社会福祉協議会の安定的な運営のために、地域包括支援センターや各種事業の取り組みについて検討する必要があります。

## １．小地域福祉活動推進事業

地域の高齢者、障害(児)者及び子育て中の親子等、支援を必要とするすべての人が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を概ね小学校区（校区福祉委員会）で推進しています。

### (1) 校区福祉委員会活動推進事業（全市レベルで行う校区福祉委員会に関連する事業）

#### ①校区福祉委員長協議会の開催（開催回数：6回）

第1回　５月　９日（水）　24校区出席

〔1〕平成29年度校区福祉委員長について

〔2〕平成30年度校区福祉委員長について

〔3〕校区福祉委員長協議会正副会長の選任について

〔4〕運転協力者（福祉・セダン）認定講習会開催要項について

〔5〕敬老記念式典における表彰者の推薦要領について

〔6〕まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について

〔7〕校区福祉委員会実務担当者・新任福祉委員研修会開催要項について

〔8〕平成 30 年度災害時に備えた地域づくり講座「マイ防災プランをつくって備えよう」～災害時要配慮者と地域が災害対策に取り組むために～開催要項について

〔9〕会員募集中間報告について

〔10〕緊急時安否確認に関する状況報告について

【配布】小地域ネットワーク活動パンフレット「広がれネットワーク」

【配布】敬老記念式典表彰者推薦関係様式

【配布】ねやがわ子育てマップ・ねやがわ子育てナビ

第2回　７月　９日（月）　22校区出席

〔1〕ひとり暮らし高齢者名簿の配布について

〔2〕敬老記念式典における表彰者の推薦状況と推薦後の流れについて

〔3〕赤い羽根共同募金運動実施要項について

〔4〕運転協力者現任研修会開催要項について

〔5〕第1回家族介護者交流事業開催要項について

〔6〕緊急時安否確認に関する状況報告について

【配布】平成30年度ひとり暮らし高齢者名簿

【配布】平成30年度ひとり暮らし高齢者名簿受領書

【配布】平成29年度校区福祉委員会概況一覧

【配布】第2次寝屋川市地域福祉活動計画　未来福祉ねやがわプラン

【配布】第1回家族介護者交流事業案内チラシ

【配布】「もの忘れ？認知症？気づきのチェック」チラシ

第3回　９月　３日（月）　24校区出席

〔1〕歳末たすけあい運動実施要項について

〔2〕見守り活動について(意見交換)

〔3〕敬老記念式典の推薦結果について

〔4〕緊急時安否確認に関する状況報告について

【配布】生活困窮者自立支援事業ニュースレター

【配布】第2回家族介護者交流事業チラシ

第4回　11月　5日（月）　23校区出席

〔1〕社会福祉協議会会員募集実施要項について

〔2〕まちかど福祉相談員現任研修会「困ったときは支えあい！困りごとに早く気づきあえるポイントって？」～地域包括支援センターとともに考える～開催要項について

〔3〕校区福祉委員指導者研修会「地域福祉活動のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう その3」開催要項について

〔4〕ボランティア講座基礎Ⅰ「心を伝える講座」～あなたにしかできないこととは？～開催要項について

〔5〕ボランティア講座基礎Ⅱ「自助具作成ボランティア養成講座」開催要項について

〔6〕福祉広報研修会「読まれる・伝わる広報紙をつくろう」～地域の魅力を発信し、愛される広報紙に～開催要項について

〔7〕ねやがわ市民ふくし講座「あなたに生きがいはありますか？」～農業×福祉×酒づくり！？豊中あぐりから学ぶ、地域共生の居場所・役割づくり～開催要項について

〔8〕見守り活動について（意見の整理と課題等の提示）

〔9〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔10〕歳末たすけあい運動街頭募金日程について

〔11〕寝屋川市民生委員児童委員協議会からの依頼「子育て応援プロジェクト～赤ちゃんは泣くものだよ～」について

【配布】社会福祉協議会会員募集実施要項

第5回　1月　16日（水）　24校区出席

〔1〕地域支え合い推進員の配置について

〔2〕子育てサロン担当者交流会～地域の親子に愛される場所へ～開催要項について

〔3〕ボランティア講座基礎Ⅰ「防災の視点で考える、地域での支え合いとボランティア活動」開催要項について

〔4〕ボランティア講座基礎Ⅰ「多世代で楽しめる、ワクワク手作り遊具づくり」開催要項について

〔5〕ボランティア講座シニア編「認知症ケアに大切な“受容”と“理解”を学ぶ講座」開催要項について

〔6〕ボランティア活動見本市開催要項について

〔7〕第3回家族介護者交流事業開催要項について

〔8〕見守り活動について（意見交換）

〔9〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔10〕赤い羽根共同募金運動の募金実績報告について

〔11〕歳末たすけあい運動の街頭募金の実績報告について

【配布】第3回家族介護者交流事業チラシ

【配布】短期集中通所サービス報告会の周知について（高齢介護室）

【配布】第3回寝屋川ハート・アート展はがきとチラシ（Club E&T）

第6回　3月　1日（金）　20校区出席

〔1〕平成31年度ひとり暮らし高齢者調査について

〔2〕校区福祉委員会各種書類の提出について（歳末配分見直しに伴う様式変更について）

〔3〕見守り活動について（意見交換）

〔4〕歳末たすけあい運動募金の実績報告について

〔5〕平成 31 年度年間行事予定・地域献血日程について
〔6〕平成 31 年度福祉学習説明会の開催について
〔7〕平成 31 年度ボランティア講座(基礎Ⅰ)について
〔8〕緊急時安否確認に関する状況報告について
〔9〕公式ホームページ及び SNS ページ運用方針について
【配布】ひとり暮らし高齢者調査様式一式
【配布】命のカプセルあんしんと説明チラシ
【配布】緊急時安否確認(かぎ預かり)事業チラシ
【配布】ボランティア保険様式(申込用紙)

② 小地域ネットワーク推進委員会の開催（開催回数：1 回）

ｅコミュニティ・プラットフォームの仕組みの報告や、災害時の見守り活動のあり方について意見交換を行いました。

第 1 回　2 月 28 日（木）　19 校区出席
〔1〕小地域ネットワーク推進委員会について
〔2〕ｅコミュニティ・プラットフォームについて（報告）
〔3〕大阪北部地震・台風 21 号被害における市内支援状況について（報告）
〔4〕災害時の見守り活動について（意見交換）
〔5〕「見守り活動の手引き」について

③ 子育てサロン担当者交流会（開催回数：1 回）

校区福祉委員会の子育てサロンに携わる福祉委員やボランティアが、子育て方法の変化や低年齢児とのかかわり方などを学ぶとともに、相互の情報交換、交流を図ることにより、市域全体として子育てサロンの活性化を図りました。

実施日　３月８日（金）
会　場　保健福祉センター５階 多目的ホール
参加者　50 人
内　容　講　義「子育ての今と昔」「赤ちゃん交流会から見る低年齢児への関わり」
　　交流会「それぞれの活動状況や想いを共有」
講　師　寝屋川市こども部子育て支援課・寝屋川市立こどもセンター
　　係長　村崎　容子　氏

④ 校区福祉委員会ボランティア部会長会の開催（開催回数：6 回）

部会長会では、校区の規模や組織の形態は違うが、お互いの情報交換をはじめ、課題を共有しながら共に解決策を探る場として開催しました。

第 1 回　4 月 24 日（火）　22 校区＋ボランティア相談員 2 人
〔1〕新ボランティア部会長の紹介
〔2〕ボランティア部会長会の役割について
〔3〕平成 29 年度の活動報告・平成 30 年度の活動計画について

〔4〕校区ボランティア部会長会管外研修について

〔5〕ボランティアセンターからのお知らせ

①ボランティア講座（基礎Ⅰ）を共催する校区福祉委員会ボランティア部会の確認

②ボランティア部会長会の連絡先・定例会開催日・VC 通信配布数の確認

第 2 回　6 月 26 日（火）　20 校区＋ボランティア相談員 2 人

〔1〕役員改選について

〔2〕ボランティア部会長会管外研修について

〔3〕校区ボランティア部会活動紹介（点野校区・中央校区）

〔4〕ボランティアセンターからのお知らせ

①ボランティア講座（基礎Ⅰ）の連絡

②ボランティア体験プログラムの連絡

第 3 回　8 月 28 日（火）　22 校区＋ボランティア相談員 1 人

〔1〕校区ボランティア部会長会管外研修について

〔2〕校区活動紹介(池田校区・梅が丘校区)

〔3〕ボランティアセンターからのお知らせ

①ボランティア講座（基礎Ⅰ）の進捗状況

②その他

第 4 回　10 月 23 日（火）20 校区

〔1〕ボランティアセンターからのお知らせ

①障害児者を守る親の会からバザー協力のお願い

②ボランティア講座（基礎Ⅰ）の進捗状況

〔2〕校区活動紹介（神田校区・宇谷校区）

〔3〕終活セミナー（第 1 日目）

第 5 回　12 月 11 日（火）20 校区

〔1〕ボランティアセンターからのお知らせ

①ボランティア講座（基礎Ⅰ）の進捗状況

〔2〕校区活動紹介（木田校区・北校区）

〔3〕終活セミナー（第 2 日目）

第 6 回　2 月 26 日（火）22 校区

〔1〕ボランティアセンターからのお知らせ

①あいあい祭りのお礼

②平成 30 年度ボランティア活動見本市の告知

③社協移転について

〔2〕ボランティア講座（基礎Ⅰ）のふり返りと共催校区の募集について

〔3〕福祉教育について（説明と案内）

〔4〕終活セミナー（最終日）

**⑤ 校区福祉委員研修会の開催（開催回数：2 回）**

〔1〕校区福祉委員会実務担当者・新任福祉委員研修会

実施日　6 月 8 日（金）

参加数　39人
内　容　基礎研修①「校区福祉委員会活動の目的と意義」
講師　佛教大学　講師　金田　喜弘　氏
基礎研修②「寝屋川市社協が目指すふくしのまちづくり」
実務研修　「会計・書記の実務と役割」

〔2〕校区福祉委員会指導者研修会
実施日　2月5日（火）
参加数　25人
内　容　地域福祉のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう　その3
講　師　大阪教育大学　教授　新崎　国広　氏

**⑥ 個別ケース検討会議の開催（開催回数：1回）**

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が、校区の実情に合わせて有意義な方法を検討し、既存の会議や地域ケア会議等を活用して開催します。

実施日　12月10日（月）
会　場　保健福祉センター5階 多目的ホール
人　数　46人
内　容〔1〕認知症に関する事例検討
〔2〕事例を基に地域包括支援センターの役割や関わりのポイントを解説
＊本会CSWと地域包括支援センター社会福祉士（総合相談グループ）が連携し、まちかど福祉相談員現任研修会の場において実施しました。

**⑦ 事例研究会の実施（開催回数：3回）**

コミュニティワーク（CW）、コミュニティソーシャルワーク（CSW）を担う事務局職員の専門性の向上を目的として研究者を講師として実施しました。

**＊（コミュニティワーク⇒）住民が地域生活を営んでいくうえで生じる様ざまな問題に、住民自身が主体的・組織的に取り組むとともに、問題解決に必要な資源の調達や連携を図っていく過程を援助する社会福祉の方法**

**＊（コミュニティソーシャルワーク）支援を必要とする人に対して、地域を基盤とする活動やサービスを結びつけることや新たなサービスの開発、また、公的制度の活用も視野に入れた支援を総合的に行っていく個別支援の方法**

実施日
第1回　7月10日（火）
講義「事例研究会の目的・意義について」
第2回　11月　9日（金）
事例「猫の世話の不具合から近隣関係が悪化している30代女性世帯とその周辺地域への支援」
第3回　1月18日（金）

事例「精神疾患が疑われる40代男性の支援について」

講　師　　大阪市立大学大学院　講師　鵜浦　直子　氏

⑧ コミュニティワーク（CW）業務研究会（開催回数：3回）

校区福祉委員会活動を中心とした地域支援の事例研究を通じ、事務局職員として地域福祉の推進（福祉課題を抱える人を支える地域づくり）方策を探ることを目的として研究者を講師として実施しました。

実施日

第1回　8月17日（金）

事例「コミュニティワーク業務研究会の目的・意義について」

第2回　12月4日（火）

事例「地域の主体性を引き出しつつ始める新たな仕組みづくりのための工夫」

第3回　1月24日（木）

事例「新たな見守り活動の仕組み作りから見えてきた校区福祉委員会の課題」

講　師　　同志社大学　教授　永田　祐　氏

⑨ 寝屋川ふくし発見プラン助成金事業（助成団体数：4団体）

校区福祉委員会等が自主性・自発性、創意工夫を発揮して、新たな事業の立ち上げや充実を図ることを通じ「地域の福祉力」を高めています。

＜第五校区福祉委員会＞

内容　地域住民を対象に、福祉活動の情報習得及び理解を深めるため、「高齢者の健康とくらし」「福祉啓発講座」「AED使用方法」についての啓発講座を開催しました。

助成額　100,000円

＜田井校区福祉委員会＞

内容　田井校区内にふたりで暮らす高齢者世帯への支援体制の構築を目的として、生活実態を把握するためにアンケート調査を行いました。

助成額　50,000円

＜和光校区福祉委員会＞

内容　和光校区内における社会資源を網羅した地域の安心安全マップを作成しました。

助成額　85,320円

＜寝屋川高齢者サポートセンター＞

内容　日常生活で不自由を抱える高齢者等の生活支援や、その担い手を養成することを目的に研修を実施しました。

助成額　50,000円

## ２．まちかど福祉相談所拡充事業

地域における見守り・発見・相談・つなぎのセーフティネット体制づくりを行います。また、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは困難な問題に対し、新たなサービスや仕組みの開発を行うとともに相談の充実を図りました。

### (1) まちかど福祉相談所の実施

#### ① まちかど福祉相談所相談員養成研修会の実施

まちかど福祉相談所相談員として活動に関わる相談員を養成することを目的に実施しました。

実 施 日　6月19日（火）、6月26日（火）、7月3日（火）
会　　場　総合センター4階 第1研修室
修了者数　17人
内　　容〔1〕まちかど福祉相談所の役割、福祉制度、相談窓口解説
〔2〕話を聴くためのコミュニケーション技法を学ぶ
演習講師　アクトコミュニケーションズ　加藤　あや　氏
〔3〕コミュニケーション実践ふりかえり、まちかど福祉相談所の取り扱い例など

#### ② まちかど福祉相談所相談員現任研修会の実施

まちかど福祉相談所の現任相談員を対象にスキルアップを目的に実施しました。

実 施 日　12月10日（月）
会　　場　保健福祉センター５階 多目的ホール
受講者数　46人
内　　容〔1〕認知症に関する事例検討
〔2〕事例を基に地域包括支援センターの役割や関わりのポイントを解説

③エリア別まちかど福祉相談所相談件数

| 対象者及び内容 | | 西北 | 南 | 東北 | 西 | 東 | 西南 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象者 | 高齢者 | 16(7) | 52(-) | 34(2) | 82(△66) | 48(△30) | 23(△9) | 255(△96) |
| | 障害者 | 1(△11) | 21(10) | 2(△1) | 3(△1) | 7(3) | 15(5) | 49(5) |
| | 子ども | -(-) | 1(△3) | 1(△2) | 2(2) | 2(1) | -(△2) | 6(△4) |
| | ＊その他 | 5(1) | 9(△24) | 5(△3) | 15(-) | 8(-) | 18(3) | 60(△23) |
| 計 | | 22(△3) | 83(△17) | 42(△4) | 102(△65) | 65(△26) | 56(△3) | 370(△118) |
| 相談内容 | 高齢者関係 | 16(5) | 57(1) | 34(12) | 82(△65) | 50(△30) | 27(△9) | 266(△86) |
| | 障害者関係 | 2(△11) | 23(9) | 4(△2) | 5(1) | 7(△5) | 17(6) | 58(△2) |
| | 子育て・子どもの教育関係 | -(△1) | 1(-) | 1(△2) | 4(4) | 2(2) | 3(1) | 11(4) |
| | 母子(父子)家庭関係 | -(-) | -(-) | 1(-) | 1(-) | 1(1) | -(-) | 3(1) |
| | ＤＶ被害関係 | -(-) | 1(1) | 1(1) | 3(3) | 1(1) | -(-) | 6(6) |
| | ホームレス関係 | -(-) | -(-) | -(-) | 1(1) | -(-) | -(-) | 1(1) |
| | 外国人関係 | -(-) | -(-) | -(-) | 1(1) | -(-) | -(-) | 1(1) |
| | 福祉制度関係 | 12(4) | 29(△11) | 15(2) | 14(△10) | 33(△23) | 22(△2) | 125(△40) |
| | 生活費関係 | 3(△7) | 3(△10) | 10(5) | 5(-) | 14(3) | 6(2) | 41(△7) |
| | 住宅関係 | 6(6) | 14(△4) | 16(6) | 10(△5) | 20(4) | 12(2) | 78(9) |
| | 地域福祉・Ｖ活動関係 | 8(4) | 5(△1) | 3(△2) | 3(△2) | 4(△2) | 5(△12) | 28(△15) |
| | 健康相談関係 | 5(△10) | 14(△2) | 11(-) | 16(△7) | 28(△23) | 28(3) | 102(△39) |
| | その他 | 4(-) | 20(△14) | 14(△3) | 48(△13) | 10(△4) | 16(△2) | 112(△36) |
| 計 | | 56(△10) | 167(△31) | 110(17) | 193(△92) | 170(△76) | 136(△11) | 832(△203) |
| 相談所開催日数 | | 46(△5) | 79(10) | 77(6) | 80(△2) | 74(△3) | 74(2) | 430(8) |

＊相談内容「その他」の主な内容

異臭について、プレハブ建屋の撤去について、隣人の迷惑行為、家族に関すること、就労について、ゴミ問題について、死後の準備について、地域住民との問題について、過払金について、親族との関係について、介護について、終活について、近所付き合いについて、法律手続きについて、離婚について、避難所に関すること、看取り後の生活について、ペット問題について、騒音トラブル、戸籍に関すること　など

④ 校区別まちかど福祉相談（まちの保健室）相談件数

平成25年度より大阪府看護協会事業「まちの保健室」と連携協働し健康相談を行っています。

| | | 梅が丘 |
|---|---|---|
| 対象者 | 高齢者 | 119(5) |
| | 障害者 | - |
| | 子ども | - |
| | ＊その他 | 4(-) |
| 計 | | 123(5) |
| 相談 | 健康相談に関すること | 265(△196) |
| | その他 | 2(2) |
| 計 | | 267(△194) |
| 相談所開催日数 | | 3(-) |

(2) まちかど福祉相談所拡充事業の実施

まちかど福祉相談所の充実発展に各エリアが取り組みました。

| 各エリア | 主な取り組み |
|---|---|
| ① 西北エリア<br>開催回数46回<br>（内出張まちかど:1回） | エリア内の4校区が共同で、西北まちかど福祉相談所を運営<br>＜主な取り組み＞<br>・ 西北まちかど福祉相談所　45回(出張まちかど相談1回)合計46回<br>・ 西北まちかど福祉相談所運営委員会　7回<br>・ 夏期集中見守り活動の実施<br>・ 西北まちかど福祉相談所相談員交流会の実施 |
| ② 南エリア<br>開催回数79回 | 堀溝校区、南校区、木田校区で、まちかど福祉相談所を運営<br>4月から木田校区内に2か所目となる「木田校区かやしま福祉相談所」を開設（月1回）し運営<br>＜主な取り組み＞<br>堀溝校区<br>・ 堀溝ほほえみなんでも相談所　47回<br>・ 堀溝まちかど相談員連絡会　6回<br>南校区<br>・ 南なんでも福祉相談所　10回<br>木田校区<br>・木田校区まちかど福祉相談所　12回<br>・木田校区かやしま福祉相談所　10回 |
| ③ 東北エリア<br>開催回数77回 | 第五校区、三井校区で、まちかど福祉相談所を運営<br>なお、9月より宇谷校区まちかど福祉相談所を開設（月1回）し運営<br>＜主な取り組み＞<br>・ 第五まちかど福祉相談所　47回<br>・ 三井まちかど福祉相談所　23回 |

| 各エリア | 主な取り組み |
| --- | --- |
| | ・ 宇谷まちかど福祉相談所　7回 |
| ④西エリア<br>開催回数80回<br>（内出張まちかど：11回） | 西校区が実施しているまちかど福祉相談所と、エリア内の4校区が協働で池の里まちかど福祉相談所を運営。各自治会への出張まちかど相談所や第八中学校区地域包括支援センター内での福祉なんでも相談会を実施<br>＜主な取り組み＞<br>西校区まちかど福祉相談所<br>・ 西校区まちかど福祉相談所　46回<br>・ 西校区出張まちかど福祉相談　5回<br>・ 西校区まちかど福祉相談所相談員連絡会　12回<br>池の里まちかど福祉相談所<br>・ 池の里まちかど福祉相談所　23回<br>・ 八中校区地域包括と共催の福祉なんでも相談会　6回<br>・ 池の里まちかど福祉相談所運営委員会　3回<br>・ 池の里まちかど福祉相談所相談員連絡会　4回 |
| ④ 東エリア<br>開催回数74回<br>（内出張まちかど：13回） | 梅が丘校区、中央校区、明和校区で、まちかど福祉相談所を運営<br>また、中央校区では各自治会への出張相談、東校区においては、いきいきサロンに出向き出張相談を実施<br>＜主な取り組み＞<br>梅が丘まちかど福祉相談所<br>・ 梅が丘まちかど福祉相談所　37回<br>・ 梅が丘まちかど福祉相談所相談員連絡会　4回<br>・ 梅が丘まちかど相談員研修会　1回<br>東校区出張まちかど福祉相談所<br>・ 東校区出張まちかど福祉相談所　7回<br>中央まちかど福祉相談所<br>・ 中央まちかど福祉相談所　12回<br>・ 中央出張まちかど福祉相談所　6回<br>・ 中央まちかど福祉相談所相談員連絡会　9回<br>明和校区まちかど福祉相談所<br>・明和校区まちかど福祉相談所　12回 |
| ⑥西南エリア<br>開催回数74回 | 和光校区が実施しているまちかど福祉相談所と、エリア内の4校区が協働で西南エスポアールまちかど福祉相談所を運営<br>＜主な取り組み＞<br>和光校区まちかど福祉相談所<br>・ 和光まちかど福祉相談所　50回<br>・ 和光まちかど福祉相談所連絡会　12回<br>西南エスポアールまちかど相談所<br>・ 西南エスポアールまちかど福祉相談所　24回 |

| 各エリア | 主な取り組み |
| --- | --- |
| | ・ 西南エスポアールまちかど相談所運営委員会　6回<br>・ 西南エスポアールまちかど福祉相談所運営委員・相談員合同会議3回<br>・ 西南エスポアールまちかど福祉相談所運営委員・相談員管外研修会 |

(3) コミュニティソーシャルワーカー（ＣＳＷ）連絡会の開催

個別の支援や地域の支援など、福祉課題を抱える人を地域で支える仕組みづくりのために、情報共有や問題解決の方策等について定期的に話し合いました。また、校区福祉委員長協議会で検討をすすめる災害時の見守り活動について、CSW コア会議と称した話合いの中で検討しました。

開催回数　12回

(4)　「福祉のまちづくりひろば」への協力（福祉部主催）

地域福祉計画に基づく活動や事業を具体的に推進するため、市民、福祉関係者等が福祉課題について意見交換を行う場に参加し、進行についての支援を行いました。

〔1〕 第１回

日時：６月 30 日（土）

場所：保健福祉センター５階　多目的ホール

〔2〕 第２回

日時：９月 29 日（土）

場所：保健福祉センター５階　多目的ホール

〔3〕 学習会

日時：９月３日（月）

場所：保健福祉センター５階　多目的ホール

〔4〕 学習会

日時：３月 28 日（木）

場所：保健福祉センター５階　研修室５

(5)　ＣＳＷと地域包括支援センター社会福祉士との意見交換会（高齢介護室主催）

福祉課題の早期発見・重症化防止に向け、連携を深めるための意見交換会

日時：6 月 28 日（木）、9 月 18 日（火）、10 月 24 日（水）、11 月 22 日（木）

場所：保健福祉センター４階　セミナー室、社協会議室

## ３．緊急時安否確認（かぎ預かり）事業

ひとり暮らし高齢者の孤立死等の事故を予防することを目的とした緊急時安否確認(かぎ預かり)の仕組みを、全エリアの校区福祉委員会、市内21か所の福祉施設と協力して実施しています。内容は、65歳以上で単身高齢者の内、利用を希望する人を対象に、玄関の鍵を預かり、緊急事態と思われるときに、鍵を使って家屋内に入り安否確認等を行うものです。

### (1) かぎ預かり利用者数（平成31年3月31日現在）

| 利用者数 | 新規申込 | 解約 |
|---|---|---|
| 725人(65) | 127 | 64 |

### (2) 緊急対応の状況

対応件数　21件（鍵使用16件／鍵未使用5件）

| 緊急対応時間帯 | 対応数 |
|---|---|
| 午前（8時～12時） | 9 |
| 午後（12時～18時） | 7 |
| 夜間（18時～21時） | 5 |
| 深夜・早朝（21時～7時） | － |
| 計 | 21 |

| 緊急対応の状況 | 対応数 |
|---|---|
| 救急搬送 | 4 |
| 死亡 | 1 |
| 在宅 | 7 |
| 外出中 | 2 |
| 鍵の紛失 | 6 |
| その他 | 1 |
| 計 | 21 |

＊その他は、「停電中の利用者の安否確認の依頼」

### (3) かぎ保管協力施設　　21施設

| 法人区分 | 施設数 |
|---|---|
| 社会福祉法人 | 14 |
| 医療法人 | 3 |
| 株式会社 | 4 |
| 計 | 21 |

(4) 21 協力施設合同会議

第 1 回　5 月　23 日（水）　出席　11 施設・寝屋川警察

〔1〕緊急時安否確認（かぎ預かり）事業の現状について（報告）

〔2〕緊急時安否確認（かぎ預かり）事業　各関係書類の変更（説明）

〔3〕ひとり暮らし高齢者調査について（説明）

(5) かぎ預かり事業への視察対応等

7 月 20 日（金）3 人　新発田市社会福祉協議会（新潟県）

11 月 6 日（火）24 人　豊能町社会福祉協議会

11 月 14 日（水）37 人　香芝市社会福祉協議会（奈良県）

12 月 4 日（火）5 人　福島区社会福祉協議会

(6) 緊急時対応合同模擬訓練（校区福祉委員会と協力施設との協働で実施）

| 校　区 | 日　時 | 会　場 | 施　設 |
|---|---|---|---|
| 石　津 | 10 月 13 日（土） | コスモシティガーデンズ香里園集会所 | 寝屋川石津園 |
| 神　田 | 12 月 13 日（木） | 西南コミュニティセンター | 神田の里、ロイヤルライフ・カミダ |
| 点　野 | 2 月 5 日（火） | 西コミュニティセンター | 点野やすらぎの里 |
| 田　井 | 12 月 6 日（木） | 音羽町自治会館 | 寝屋川石津園 |
| 西 | 9 月 7 日（金） | 池の里市民交流センター | そよ風 |

## ４．ボランティアセンター事業

市民のボランティア活動に対する理解と関心を高めるとともに、ボランティアの育成及び需給調整など活動の支援を行うことによってボランティア活動の効果的な推進を図っています。

### (1) ボランティアセンター運営事業

#### ① ボランティアセンター運営委員会の開催（開催回数：6回）

第1回　5月10日（木）　13人

※ボランティアセンター運営委員の交代について

〔1〕新規団体登録の申請について　（検討）

〔2〕ボランティアセンター通信第108号(5月1日号)発行（報告）

〔3〕平成30年度ボランティアセンター事業年間予定とボランティア講座開催について

〔4〕平成30年度登録ボランティア状況について

第2回　7月12日（木）　13人

〔1〕正副委員長の選出について

〔2〕ボランティアセンター及び運営委員会の役割機能（説明）

〔3〕平成30年度登録団体の新規申請及び退会について

〔4〕ボランティアセンター通信109号(7月1日号)発行（報告）

〔5〕平成30年度ボランティア講座等開催について（連絡）

第3回　9月13日（木）　15人

〔1〕ボランティアセンター通信110号（9月1日号）発行(報告)

〔2〕ボランティア講座等開催について（報告と連絡）

〔3〕ボランティアセンター運営委員会での検討課題について

第4回　11月8日（木）　12人

〔1〕ボランティアセンター通信111号（11月1日号）発行(報告)

〔2〕平成30年度ボランティア講座等の進捗状況について（報告と連絡）

〔3〕検討課題について（若年層ボランティアについて意見集約）

第5回　1月10日（木）　9人

〔1〕ボランティアセンター通信112号（12月20日号）発行(報告)

〔2〕平成30年度ボランティア講座の案内・各種会議等の報告

〔3〕検討課題について（日常的なボランティアについて意見集約）

第6回　3月14日（木）　12人

〔1〕新規団体登録の申請について　（検討）

〔2〕ボランティアセンター通信113号（3月1日号）発行（連絡）

〔3〕平成30年度ボランティア講座・各種会議等の報告

〔4〕平成31年度のボランティアセンター事業について（連絡）

〔5〕検討課題について（ボランティアの周知方法に向けた解決策の検討）

② ボランティア相談員連絡会の開催（開催回数：12回）

ボランティア活動希望者の相談や個人、施設等からのボランティア依頼、需給調整を行っています。週３回８人のボランティア相談員で対応しています。

開催日（出席者）　4月23日（5人）、5月28日（5人）、6月25日（6人）、7月23日(5人)、8月27日（3人）、9月18日（3人）、10月22日（4人）、11月26日（4人）、12月10日（4人）、1月28日（6人）、2月25日（5人）、3月25日（6人）

(2) ボランティア研修事業

①ボランティア講座（基礎Ⅰ）の開催（開催回数：3回）

ボランティア講座〔基礎Ⅰ〕

講座名　『多世代で楽しめる、ワクワク手作り遊具づくり』
共　催　点野校区福祉委員会ボランティア部会
開催日　1月19日(土)
会　場　西コミュニティセンター
参加数　57人
内　容　点野校区福祉委員会ボランティア部会活動紹介
　　実践　手作り遊具を作ってみよう
講　師　森田　展生　氏　(SA寝屋川連絡会　代表)

ボランティア講座〔基礎Ⅰ〕

講座名　「心を伝える講座　～あなたにしかできないこととは～？」
共　催　南校区福祉委員会ボランティア部会
開催日　1月21日(月)
会　場　萱島まちづくりセンター　多目的ホール
参加数　53人
内　容　講演「心を伝える講座～あなたにしかできないこととは？～」
　　南校区福祉委員会ボランティア部会紹介
講　師　石井　祐理子　氏（京都光華女子大学　教授）

ボランティア講座〔基礎Ⅰ〕

講座名　「防災の視点で考える、地域での支え合いとボランティア活動」
共　催　池田校区福祉委員会ボランティア部会
開催日　２月２日（土）
会　場　池田小学校　体育館
参加数　70人
内　容　池田校区ボランティア部会活動紹介
　　講演「災害時の地域支え合いとボランティア活動」
講　師　浅野　英一　氏（摂南大学地域総合研究所　所長）

②ボランティア講座（基礎Ⅱ）の開催(開催回数：1回)

ボランティア講座〔基礎Ⅱ〕

講座名　自助具作成ボランティア養成講座
開催日　1月30日（水）
会　場　保健福祉センター　5階　多目的ホール
参加数　38人
内　容　講義　加齢や障害による日常生活動作の低下に伴う心情・自助具が必要な理由等
　　実践　自助具を作成
講　師　小西　誠　　氏（おかもと訪問看護ステーション　作業療法士）
　　岡本　健太　氏（おかもと訪問看護ステーション　作業療法士）

③ボランティア講座(シニア編)の開催(開催回数：1回)＜市からの委託事業＞

ボランティア講座〔基礎Ⅱ〕

講座名　認知症のケアに大切な“受容”と“理解”を学ぶ講座
　　～あなたの温かい関りが優しい地域づくりに～
開催日　2月13日（水）
会　場　保健福祉センター　5階　多目的ホール
参加数　40人
内　容　講義　認知症の種類や症状、ケアの方法を学ぶ
講　師　拝殿　未央　氏（社会福祉法人百丈山合掌会　常務理事・総合施設長）

④ボランティア体験プログラムの実施（大阪府社協との共催事業）

| 実施日程 | 受け入れ施設 |
|---|---|
| 7月1日～9月30日 | 特別養護老人ホームロイヤルライフ天寿苑 |
| | デイサービスセンター寝屋川十字の園 |
| | ワークセンター小路 |
| | すばる・北斗福祉作業所 |

(3) ボランティアセンター通信の発行（発行：6回／各2,000部発行）

| 発行日 | 号 | 主　な　内　容 |
|---|---|---|
| 5月1日 | 108 | V喜びBOXが誕生　ボランティアグループ紹介 |
| 7月1日 | 109 | 自分の状況を「見える化」　校区福祉委員会紹介 |
| 9月1日 | 110 | 大切な日頃の心構え(防災週間)　ボランティアグループ紹介 |
| 11月1日 | 111 | 大地震の震度も体感（校区ボランティア部会長会管外研修）<br>校区福祉委員会紹介 |
| 12月20日 | 112 | 新手の詐欺から身を守ろう　ボランティアグループ紹介 |
| 3月1日 | 113 | 第七中学校でボランティア隊結成　校区福祉委員会紹介 |

(4) ボランティア活動支援事業

① 活動に関する相談・援助の実施

| | |
|---|---|
| 活動依頼相談 | 223(△23) |
| 活動参加希望相談 | 22(1) |
| 各種情報提供 | 32(17) |
| 計 | 277(△5) |

② ボランティアの育成・組織化の実施

ボランティアセンターへの相談者に地域や施設などでボランティア活動が始められるよう、また、継続して活動が続けられるよう個別相談に応じ個人ボランティアや組織の育成に努めました。

③ 活動に必要な場所の提供（ボランティアセンター室）

| 時間帯 | 計 |
|---|---|
| 午前 | 177(9) |
| 午後 | 147(33) |
| 夜間 | 2(△7) |
| 計 | 326(35) |

④ 学校等からの依頼に基づく調整

学校等からの依頼に基づき、ボランティアセンター主催のボランティア養成講座後グループ結成をした「わくわく未来塾」の活動を紹介し、日程調整などを行いました。

| 内　容 | 平和学習 | 伝承遊び | 布ぞうり |
|---|---|---|---|
| 件　数 | 4(-) | 8(-) | 10（△2) |
| 参加者 | 274(△50) | 445(△53) | 60(20) |
| スタッフ数 | 26(△5) | 70(△17) | 50(△14) |

⑤ボランティア活動見本市の開催

日　時　　3月10日（日）

場　所　　保健福祉センター5階多目的室、研修室5

参加V　　活動披露　15組

　　展示ブース　5組

来場者　　180人

内　容　　歌や踊り、マジック、楽器演奏等を披露することを通して、楽しいひと時を提供するボランティアが福祉施設や地域で行われている各種のサロン活動、地域の老人会等の関係者を対象に、自分たちの活動内容を直接披露する場を設けることで、受給調整を活性化していくとともに、新たなボランティア団体・個人の開拓を目的として開催しました。

(5) ボランティア活動の需給調整の実施

（施設・団体分）

| | |
|---|---|
| 件　　数 | 146(△22) |
| 参加Ｖ数 | 1,044 (△273) |

(6) 登録ボランティアグループ連絡会の開催

①登録ボランティアグループ連絡会役員会の開催（開催回数：5回）

第1回　役員会　4月26日（木）出席　役員2人

〔1〕今後の登録ボランティアグループ連絡会について

第2回　役員会　6月15日（金）　出席　役員3人

〔1〕次回の連絡会の案件について

〔2〕登録ボランティアグループ活動紹介冊子について

〔3〕連絡会での活動発表について

第3回　役員会　9月20日（木）　出席　役員3人

〔1〕次回の連絡会の案件について

〔2〕登録ボランティアグループ活動紹介冊子について

〔3〕活動発表について

第4回　役員会　12月4日（火）　出席　役員2人

〔1〕次回の連絡会の案件について

〔2〕登録ボランティアグループ活動紹介冊子について

〔3〕活動発表について

第5回　役員会　3月5日（火）　出席　役員3人

〔1〕次回の連絡会の案件について

〔2〕登録ボランティアグループ活動紹介冊子について

〔3〕活動発表について

〔4〕会長の退任、次期会長の選出

②登録ボランティアグループ連絡会の開催（開催回数：4回）

第1回　連絡会　4月3日（火）　出席　29団体

〔1〕事務局からの連絡

〔2〕ニコニコボランティアまつりについて

〔3〕登録ボランティアグループ連絡会の役員改選について

第2回　連絡会　7月3日（火）　出席　30団体

〔1〕事務局からの連絡

〔2〕登録ボランティアグループ活動紹介(冊子)について

〔3〕連絡会での活動発表について

第3回　連絡会　10月2日（火）　出席　31団体

〔1〕事務局からの連絡

〔2〕登録ボランティアグループ活動紹介(冊子)について

〔3〕活動発表

第4回　連絡会　1月16日（水）　出席　25団体

〔1〕事務局からの連絡

〔2〕登録ボランティアグループ活動紹介(冊子)について

〔3〕活動発表

〔4〕交流会

### (7) 資材教材の貸出し

行政や学校、ボランティアグループや市民活動団体に対して貸出しを行いました。

#### ① 教材用車イス貸出状況

| | |
|---|---|
| 件　　数 | 35（1） |
| 貸出台数 | 981（△266） |

#### ② 教材用アイマスク貸出状況

| | |
|---|---|
| 件　　数 | 15(8) |
| 貸出枚数 | 1,604(1,090) |

#### ③ 教材用擬似体験装具貸出状況

| | |
|---|---|
| 件　　数 | 15（1） |
| 貸出台数 | 313（40） |

#### ④ 教材用点字板貸出状況

| | |
|---|---|
| 件　　数 | 7（△2） |
| 貸出枚数 | 980（△660） |

#### ⑤ プロジェクター貸出状況

| | |
|---|---|
| 件　　数 | 87（△1） |
| 貸出台数 | 95（△6） |

＊上記①～⑤貸出台数・貸出枚数は延べ数で記載

### (8) ボランティアセンターに登録している団体・個人

団体：55団体（1,201人）　個人：48人

### (9) 災害時に備えた地域づくり講座

「マイ防災プランをつくって備えよう」～災害時要配慮者と地域が災害対策に取り組むために～

開催日　①　6月15日（金）、6月22日（金）

②　8月21日（火）、8月24日（金）

③　10月26日（金）

会　場　保健福祉センター５階　多目的ホール

内　容　①災害時必要物品確認、自宅内の見取り図書き込み、自宅から避難所までの問題検討、避難所到着後の問題検討など

② 第１回講座で検討した問題への対策検討など

③ 福祉委員、視覚障害者、肢体不自由児者の親などからマイ防災プランの発表

参加者　校区福祉委員、民生委員、障害者団体協議会、災害 VC 登録スタッフ

①107 人

② 97 人

③ 59 人

講　師　摂南大学　教授　池内　淳子 氏

### (10)　災害用主な備品状況

| 備品 | H30 年配備数 | 配備済数 | 計 |
|---|---|---|---|
| 収納コンテナボックス | － | 12 | 12 |
| エアテント | － | 3 | 3 |
| 簡易テント | － | 1 | 1 |
| ビブス（ベスト） | － | 600 | 600 |
| 軍手 | － | 500 | 500 |
| カゴ台車 | － | 4 | 4 |
| 折り畳み式リヤカー | － | 3 | 3 |
| 蛍光灯 | － | 6 | 6 |
| 発電機 | － | 3 | 3 |
| 投光器 | － | 5 | 5 |
| ヘルメット | － | 50 | 50 |
| チェーンソー | － | 2 | 2 |
| 長靴 | － | 15 | 15 |
| 雨具 | － | 15 | 15 |
| 看板（標示） | － | 9 | 9 |
| トランシーバー | － | 10 | 10 |
| 物置 | 1 | － | 1 |

## ５．福祉教育推進事業

子どもから高齢者、障害者など社会福祉への関心や気づきを深め、ひとり一人が自分に出来ることを考え行動する力を育む活動を行っています。また、他市の福祉教育の情報収集を行い、既存のプログラムだけではない福祉教育のあり方について検討しています。

### (1)福祉体験学習説明会の開催

学校関係者、校区福祉委員会を対象に、福祉体験学習ボランティア紹介や依頼調整に関わる説明会を行いました。

開催日：5月７日（月）

会　場：保健福祉センター5階　多目的ホール・研修室５

参加者数：56人

### (2)ボランティアグループ等で対応した福祉体験学習（実施回数：50回）

①擬似体験学習（対応団体：うらしまさん・各校区福祉委員会）

| No. | 実施日 | 実施先 | | 人数 | 校区福祉委員会 | 内容 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 車イス体験 | 視覚障害体験 | 高齢者等擬似体験 |
| 1 | 4月3日 | 市新任職員研修 | | 44 | － | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 4月4日 | 市新任職員研修 | | | － | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 6月12日 | 西小 | 6年 | 64 | 西 | ○ | | |
| 4 | 6月13日 | 木田小 | 4年 | 72 | 木田 | | ○ | |
| 5 | 6月20日 | 梅が丘小 | 4年 | 40 | 梅が丘 | | ○ | |
| 6 | 6月21日 | 神田小 | 4年 | 77 | 神田 | | ○ | |
| 7 | 6月26日 | 桜小 | 4年 | 72 | 桜 | | ○ | |
| 8 | 7月9日 | 石津小 | 4年 | 62 | 石津 | | ○ | |
| 9 | 7月10日 | 啓明小 | 4年 | 53 | 啓明 | | ○ | |
| 10 | 7月13日 | 国松緑丘小 | 4年 | 62 | 国松緑丘 | | ○ | |
| 11 | 7月19日 | 池田小 | 4年 | 84 | 池田 | | ○ | |
| 12 | 10月2日 | 市新任職員研修 | | 7 | － | ○ | ○ | ○ |
| 13 | 10月3日 | 香里ヌヴェール学院小 | 5年 | 66 | － | ○ | | |
| 14 | 10月5日 | 香里ヌヴェール学院小 | 6年 | 84 | － | | | ○ |
| 15 | 10月10日 | 神田小 | 5年 | 85 | 神田 | ○ | | |
| 16 | 10月12日 | 東小 | 6年 | 87 | 東 | ○ | | |
| 17 | 10月18日 | 同志社香里中 | 1年 | 243 | － | ○ | | |
| 18 | 10月19日 | | | | | | | |
| 19 | 10月23日 | 楠根小 | 3年 | 43 | 楠根 | ○ | | |
| 20 | 10月23日 | 楠根小 | 5年 | 28 | 楠根 | | | ○ |
| 21 | 10月26日 | 国松緑丘小 | 5年 | 57 | 国松緑丘 | ○ | | |

| No. | 実施日 | 実施先 | | 人数 | 校区福祉委員会 | 内容 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 車イス体験 | 視覚障害体験 | 高齢者等擬似体験 |
| 22 | 10月30日 | 梅が丘小 | 5年 | 57 | 梅が丘 | ○ | | |
| 23 | 11月6日 | 石津小 | 6年 | 67 | 石津 | ○ | | |
| 24 | 11月14日 | 香里ヌヴェール学院小 | 4年 | 81 | － | | ○ | |
| 25 | 11月16日 | 成美小 | 5年 | 42 | 成美 | ○ | | |
| 26 | 11月27日 | 市新任職員研修 | | 8 | － | ○ | ○ | ○ |
| 27 | 12月7日 | 木田小 | 6年 | 84 | 木田 | | | ○ |
| 28 | 12月10日 | 点野小 | 3年 | 78 | 点野 | | ○ | |
| 29 | 12月18日 | 点野小 | 6年 | 92 | 点野 | | | ○ |
| 30 | 1月10日 | 成美小 | 6年 | 73 | 成美 | | | ○ |
| 31 | 1月17日 | 桜小 | 5年 | 70 | 桜 | ○ | | |
| 32 | 1月24日 | 池田小 | 5年 | 100 | 池田 | ○ | | |
| 計 | | | | 2,082 | | 16 | 14 | 9 |

＊対応団体　うらしまさん⇒高齢者疑似体験ボランティアグループ

②点字　（対応団体：つくしの会）

| No. | 実施日 | 実施先 | | 人数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 7月6日 | 国松緑丘小 | 3年 | 56 |
| 2 | 9月10日 | 梅が丘小 | 4年 | 41 |
| 3 | 9月27日 | 楠根小 | 4年 | 29 |
| 4 | 10月4日 | 堀溝小 | 4年 | 48 |
| 5 | 10月26日 | 三井小 | 3年 | 68 |
| 6 | 11月5日 | 木屋小 | 3年 | 106 |
| 7 | 11月15日 | 香里ヌヴェール学院小 | 3年 | 62 |
| 8 | 2月25日 | 池田小 | 3年 | 100 |
| 計 | | | | 510 |

＊対応団体　つくしの会⇒点訳ボランティアグループ

③障害のある当事者の話（対応団体：市身体障害者福祉会視覚部、石橋奈美氏）

| No. | 実施日 | 実施先 | | 人数 | 対応団体 | 内容 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 視覚障害について | 介助犬について |
| 1 | 9月20日 | 明和小 | 4年 | 39 | 視覚部 | ○ | |
| 2 | 10月10日 | 桜小 | 2年 | 63 | 石橋奈美氏 | | ○ |
| 3 | 10月18日 | 北小 | 3年 | 108 | 石橋奈美氏 | | ○ |

| No. | 実施日 | 実施先 | | 人数 | 対応団体 | 内容 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 視覚障害について | 介助犬について |
| 4 | 10月24日 | 宇谷小 | 3年 | 67 | 石橋奈美氏 | | ○ |
| 5 | 10月30日 | 堀溝小 | 3年 | 56 | 視覚部 | ○ | |
| 6 | 11月30日 | 国松緑丘小 | 2年 | 49 | 石橋奈美氏 | | ○ |
| 7 | 1月23日 | 四中 | 1年 | 77 | 石橋奈美氏 | | ○ |
| 8 | 1月29日 | 東小 | 4年 | 100 | 視覚部 | ○ | |
| 計 | | | | 559 | | 3 | 5 |

④認知症の理解（対応者：戸田正己氏）

| No. | 実施日 | 実施先 | | 人数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1月22日 | 一中 | 1年 | 144 |
| 2 | 1月31日 | 六中 | 1年 | 187 |
| 計 | | | | 331 |

(3) 校区福祉委員会単独で対応した福祉体験学習（実施回数：19回）

| No. | 実施日 | 実施先 | | 人数 | 校区福祉委員会 | 内容 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 車イス体験 | 視覚障害体験 | 高齢者等擬似体験 |
| 1 | 6月6日 | 南小 | 4年 | 74 | 南 | | ○ | |
| 2 | 6月12日 | 西小 | 6年 | 69 | 西 | | | ○ |
| 3 | 6月29日 | 南小 | 6年 | 78 | 南 | | | ○ |
| 4 | 9月25日 | 木屋小 | 4年 | 93 | 木屋 | | ○ | |
| 5 | 10月3日 | 三井小 | 4年 | 79 | 三井 | | ○ | |
| 6 | 10月11日 | 田井小 | 5年 | 89 | 田井 | | ○ | |
| 7 | 10月12日 | 木屋小 | 6年 | 88 | 木屋 | | | ○ |
| 8 | 10月12日 | 西小 | 4年 | 59 | 西 | | ○ | |
| 9 | 10月16日 | 南小 | 5年 | 66 | 南 | ○ | | |
| 10 | 10月16日 | 北小 | 5年 | 119 | 北 | | | ○ |
| 11 | 10月18日 | 堀溝小 | 6年 | 47 | 堀溝 | | | ○ |
| 12 | 10月25日 | 堀溝小 | 5年 | 55 | 堀溝 | ○ | | |
| 13 | 11月17日 | 明和小リバティフェスタ | | 600 | 明和 | ○ | | |
| 14 | 11月22日 | 田井小 | 6年 | 95 | 田井 | ○ | | |
| 15 | 11月26日 | 和光小 | 4年 | 119 | 和光 | ○ | ○ | |
| 16 | 11月29日 | 北小 | 6年 | 118 | 北 | ○ | | |
| 17 | 12月14日 | 北小 | 4年 | 127 | 北 | | ○ | |

| No. | 実施日 | 実施先 | | 人数 | 校区福祉委員会 | 内容 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 車イス体験 | 視覚障害体験 | 高齢者等擬似体験 |
| 18 | 2月7日 | 宇谷小 | 4年 | 68 | 宇谷 | | ○ | |
| 19 | 3月13日 | 十中 | 1・2年 | 259 | 宇谷・三井 | ○ | | |
| 計 | | | | 2,302 | | 7 | 8 | 5 |

(4) 福祉啓発を目的とした市民向けのシンポジウムの開催

開催日　11月22日（木）

会　場　保健福祉センター5階　多目的ホール

参加者　48人

内　容　「あなたに生きがいはありますか？　～農業×福祉×酒づくり！？
豊中あぐりから学ぶ、地域共生の居場所・役割づくり～」

講　師　豊中市社会福祉協議会　福祉推進室長　勝部　麗子氏
豊中あぐりプロジェクト事業メンバー　戸谷　友隆氏

## ６．当事者組織支援事業

同じ福祉問題を持つ人たちを組織化し、問題の当事者という立場で悩みや問題の共有や問題解決を図るための活動、関係機関とのネットワークづくり等に取り組む当事者（ひとり暮らし高齢者の会・介護者の会）の支援を行っています。

### (1)組織運営の支援

#### ① ひとり暮らし高齢者の会連絡会

〔1〕ひとり暮らし高齢者の会連絡会の開催（開催回数：5回）

| | | |
|---|---|---|
| 4月17日（火） | 9人 | 6月の役員改選に向けての協議<br>平成29年度連絡会事業報告及び決算報告について<br>平成30年度連絡会事業計画（案）及び予算（案）について<br>交通費の取扱について<br>にぎわいバザーのふりかえり |
| 6月19日（火） | 8人 | 役員改選<br>会長交流会の日程調整<br>平成29年度役員会及び、連絡会の交通費を支給 |
| 8月21日（火） | 7人 | 会長交流会のふりかえり<br>ひとり暮らし高齢者の会研修会の開催について |
| 10月16日（火） | 7人 | ひとり暮らし高齢者の会研修会の開催に向けての調整<br>にぎわいバザー売上の分配について<br>にぎわいバザーの開催について |
| 2月19日（火） | 5人 | 各会の平成30年度事業報告・決算書と平成31年度事業計画・予算について<br>編集委員会について |

〔2〕ひとり暮らし高齢者の会役員会の開催（開催回数：5回）

| | | |
|---|---|---|
| 5月23日（水） | 4人 | 会長交流会について<br>役員改選に向けての最終調整 |
| 9月26日（水） | 5人 | ひとり暮らし高齢者の会研修会の開催に向けての参加者募集についてなどの協議 |
| 11月28日（水） | 5人 | ひとり暮らし高齢者の会研修会の最終確認<br>連絡会ニュースの発行について |
| 1月23日（水） | 5人 | ひとり暮らし高齢者の会研修会のふりかえり<br>連絡会ニュースの配布 |
| 3月27日（水） | 5人 | 平成31年度事業計画および予算について |

〔3〕ひとり暮らし高齢者の会研修会の開催（開催回数：1回）

| | | |
|---|---|---|
| 12月3日（月） | 35人 | 講演：「笑いヨガ」<br>講師：笑いヨガリーダー　尾崎　和子　氏<br>笑いヨガリーダー　山元　峰子　氏 |

〔4〕連絡会ニュースの発行（発行：3回）

発行月　　4月、8月、12月　発行部数　600部

〔5〕会長交流会

7月25日（水）　6人　　喜多八

| 会員数 | 連絡会加入会数 | |
|---|---|---|
| 197人(△57) | 7会（△3） | 平成31年3月31日現在 |

② 介護者の会

〔1〕介護者の会理事会の開催（開催回数：12回）

4月　3日（火）12人　リフレッシュ事業のふりかえり
総会について

4月 25日（水）10人　総会資料の読み合わせなど

5月　8日（火）12人　総会に向けて、役割分担などの最終調整

6月　5日（火）　8人　総会のふりかえり
北河内4市介護者（家族）の会連絡会についての協議

7月　3日（火）11人　平成30年度会員動静について　　今後の会活動について
第1回家族介護者交流事業への協力参加について

9月　4日（火）10人　北河内4市介護者（家族）の会ブロック交流会について
リフレッシュ事業の開催　研修会の開催
新年会の開催

10月2日（火）10人　研修会のふりかえり
北河内4市介護者（家族）の会ブロック交流会について
新年交流会の開催について

11月6日（火）　9人　北河内4市ブロック交流会について
新年交流会の開催について

12月4日（火）11人　北河内4市ブロック交流会のふりかえり
新年交流会について
リフレッシュ事業について

1月8日（火）　11人　新年交流会の最終打合せ
リフレッシュ事業の開催に向けて日程、行先などを協議

2月5日（火）　11人　新年交流会のふりかえり
リフレッシュ事業参加者募集などの最終調整

3月5日（火）　11人　リフレッシュ事業のふりかえり
平成31年度事業計画・予算について

〔2〕介護サロンの実施　（開催回数：48回　／　相談件数：電話相談198件　来所相談15件）

介護者の会会員や一般市民が、気軽に立ち寄って介護に関する相談ができる場として、毎週木曜日に介護サロンを実施しました。

〔3〕認知症介護家族交流会の実施（開催回数：6回）

4月20日（金）17人参加、 6月15日（金）16人参加、 8月17日（金）13人参加
10月19日（金）13人参加、 12月21日（金）11人参加、 2月15日（金）16人参加

〔4〕「介護者だより」の発行（発行：2回）

発行月7月、2月　発行部数 各900部

〔5〕分会活動の実施

会員を市内6ブロックに分け、分会ごとに会員懇談会・交流会等活動を行いました。

（分会活動開催回数・内容）

［1分会］ 7回 役員会 会員懇談会
［2分会］ 1回 会員懇親会
［3分会］ 1回 会員懇親会
［4分会］ 7回 会員懇談会、施設見学
［5分会］ 8回 会員懇談会、健康推進教室、健康体操、施設見学
［6分会］ 3回 健康講座、懇親会

〔6〕北河内4市介護者（家族）の会連絡会に参加

6月 22日（金）9人 寝屋川市保健福祉センター
10月 15日（月）3人 門真市保健福祉センター
11月 26日（月）14人 寝屋川市保健福祉センター

〔7〕大阪府介護者（家族）の会連絡会に参加

5月 18日（金）2人 大阪社会福祉指導センター
6月 11日（月）6人 大阪社会福祉指導センター
8月 9日（木）2人 大阪社会福祉指導センター
11月 2日（金）2人 大阪社会福祉指導センター
1月 17日（木）2人 門真市保健福祉センター
2月 22日（金）5人 大阪社会福祉指導センター
3月 11日（月）2人 大阪社会福祉指導センター

| |
|---|
| 会員数　正会員　35人(△1)　準会員　76人(2)　賛助会員　57人(-)<br>計　166人(△1)　〔平成31年3月31日現在〕 |

(2) コミュニティワークとしての支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会への支援

ひとり暮らし高齢者の会の役員との連携及び交流を目的に、役員会及び連絡会を開催し、情報交換や広報誌の作成に協力するなど支援を行っています。

② 介護者の会への支援

役員の健康問題が会の運営に影響を与えているが、定例開催している理事会を通じて役員と意見交換や情報交換を行い、協力を図りながら円滑に会活動を遂行していけるように支援を行っています。また、分会活動をとおして会員の声に耳を傾けながら、介護者の会が継続して活動ができるように支援を行っています。

## 7．家族介護者交流事業(開催回数：3回)＜市からの受託事業＞

高齢者等を在宅で介護する家族のリフレッシュと交流を図ることを目的に実施しました。

第1回目　実施日　9月29日（土）
　　行き先　滋賀県大津市（おごと温泉など）
　　内　容　交流食事会
　　参加者　介護者　18人　協力者　2人

第2回目　実施日　11月19日（月）
　　内　容　第1部　笑いヨガ
　　講師：一般財団法人ラフターヨガ
　　インターナショナル日本支部
　　理事　はやし　さえ　氏
　　第2部　交流食事会
　　参加者　介護者　13人　協力者　2人

第3回目　実施日　2月26日（火）
　　内　容　第1部　エレクトーン演奏会
　　演奏：わくわく音楽隊
　　第2部　交流食事会
　　参加者　介護者　15人　協力者　2人

## ８．献血推進事業

各コミセンエリアの校区福祉委員会及び各種団体等の協力のもと、地域・団体献血を実施しました。また、赤十字血液センターが主体となり、寝屋川市内の事業所、学校、街頭にて献血を実施しました。

### (1) 地域・団体献血の実施（実施回数：16回）

| 月日 | | 会場 | 主催 | 受付数 | 採血数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 17 | 京阪寝屋川市駅東口前 | 中央ライオンズクラブ | 43 | 38 |
| | 30 | イオン四條畷 | 南エリア４校区福祉委員会 | 39 | 29 |
| 6 | 2 | 市立総合センター | 寝屋川市歯科医師会 | 30 | 24 |
| | 25 | アルプラザ香里園 | 西北エリア４校区福祉委員会 | 46 | 40 |
| 8 | 16 | 市役所本庁 | 北大阪赤十字血液センター | 48 | 45 |
| 9 | 14 | エスポアール | 西南エリア４校区福祉委員会 | 24 | 20 |
| | 21 | 成田山不動尊駐車場 | 東北エリア４校区福祉委員会 | 28 | 24 |
| 10 | 26 | コーナン寝屋川昭栄店 | 南エリア４校区福祉委員会 | 25 | 20 |
| 11 | 2 | 京阪寝屋川市駅東口前 | 東エリア４校区福祉委員会 | 31 | 28 |
| | 15 | 第五中学校 | 西南エリア４校区福祉委員会 | 17 | 15 |
| | 16 | 市立総合センター | 西エリア４校区福祉委員会 | 33 | 28 |
| 1 | 7 | 市役所本庁 | 北大阪赤十字血液センター | 27 | 26 |
| | 17 | 京阪寝屋川市駅東口前 | 中央ライオンズクラブ | 29 | 22 |
| 2 | 25 | アルプラザ香里園 | 西北エリア４校区福祉委員会 | 56 | 36 |
| 3 | 7 | 市立総合センター | 西エリア４校区福祉委員会 | 17 | 17 |
| | 19 | ビバモール寝屋川 | 東北エリア４校区福祉委員会 | 24 | 18 |
| 小計 | | | | 517(△54) | 430(△52) |

### (2) 事業所、学校、街頭献血の実績

| 区分 | 実施回数 | 受付数 | 採血数 |
|---|---|---|---|
| 事業所 | 39(△4) | 933(△138) | 785(△185) |
| 学校 | 9(1) | 393(67) | 306(32) |
| 街頭 | 27(△5) | 1,332(7) | 1,154(△44) |
| 計 | 75(△8) | 2,658(△64) | 2,245(△197) |

## 9．福祉有償運送事業

移動が困難な高齢者や障害者等を対象に、リフト付き車両による移送サービスを行いました。

### (1) 移送サービス事業＜市からの一部受託事業＞

#### ① 移送サービスの実施件数

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 予約件数(件) | | 258 (△62) | 259 (△60) | 254 (△45) | 245 (△99) | 249 (△86) | 252 (△66) |
| 実施件数 | 高齢者 | 114 (△35) | 126 (2) | 106 (△30) | 91 (△57) | 107 (△44) | 109 (△36) |
| | 高齢＋障害者 | 59 (3) | 42 (△18) | 56 (3) | 47 (△10) | 53 (△4) | 50 (△12) |
| | 障害者 | 28 (△10) | 32 (△13) | 21 (△19) | 23 (△14) | 25 (△8) | 26 (△5) |
| | その他 | 17 (△4) | 13 (△10) | 12 (△10) | 15 (△13) | 16 (△12) | 16 (△6) |
| | 合　計(件) | 218 (△46) | 213 (△39) | 195 (△56) | 176 (△94) | 201 (△68) | 201 (△59) |
| V参加数(人) | | 132 (△36) | 116 (△52) | 112 (△64) | 108 (△68) | 120 (△44) | 112 (△60) |
| 利用目的 | 通院など | 142 (△38) | 140 (△19) | 134 (△33) | 122 (△58) | 139 (△45) | 131 (△51) |
| | 施設送迎 | 43 (2) | 44 (△9) | 41 (△2) | 37 (△14) | 38 (△2) | 47 (4) |
| | 行事参加 | 2 (1) | 1 (1) | - (-) | - (-) | 1 (1) | - (-) |
| | 行楽 | 2 (1) | - (△1) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) |
| | その他 | 29 (△12) | 28 (△11) | 20 (△21) | 17 (△22) | 23 (△22) | 23 (△12) |
| | 合　計(件) | 218 (△46) | 213 (△39) | 195 (△56) | 176 (△94) | 201 (△68) | 201 (△59) |
| 稼働日数(日) | | 30 (-) | 31 (-) | 29 (△1) | 28 (△3) | 31 (1) | 28 (△2) |
| 走行距離(km) | | 4,239 (△1,103) | 3,893 (△1,624) | 3,731 (△1,304) | 3,275 (△2,122) | 3,837 (△1,701) | 3,877 (△1,663) |

| | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 予約件数(件) | | 249 (△96) | 242 (△72) | 226 (△74) | 222 (△81) | 234 (△33) | 227 (△99) | 2,917 (△873) |
| 実施件数 | 高齢者 | 104 (△34) | 106 (△20) | 95 (△30) | 97 (△29) | 98 (△16) | 86 (△56) | 1,239 (△385) |
| | 高齢＋障害者 | 64 (△4) | 53 (-) | 53 (△3) | 47 (△19) | 54 (△1) | 43 (△25) | 621 (△90) |
| | 障害者 | 27 (△9) | 24 (△12) | 22 (△4) | 24 (△5) | 23 (△4) | 24 (△3) | 299 (△106) |
| | その他 | 8 (△7) | 17 (△15) | 14 (△10) | 14 (-) | 16 (1) | 13 (△4) | 171 (△90) |
| | 合　計(件) | 203 (△54) | 200 (△47) | 184 (△47) | 182 (△53) | 191 (△20) | 166 (△88) | 2,330 (△671) |
| V参加数(人) | | 130 (△44) | 122 (△46) | 122 (△38) | 116 (△38) | 122 (△28) | 100 (△74) | 1,412 (△592) |
| 利用目的 | 通院など | 133 (△51) | 132 (△29) | 118 (△46) | 127 (△37) | 117 (△42) | 119 (△66) | 1,554 (△515) |
| | 施設送迎 | 35 (△4) | 37 (△10) | 34 (1) | 34 (△4) | 42 (10) | 31 (△7) | 463 (△35) |
| | 行事参加 | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | 4 (3) |
| | 行楽 | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | 2 (-) |
| | その他 | 35 (1) | 31 (△8) | 32 (△2) | 21 (△12) | 32 (12) | 16 (△15) | 307 (△124) |
| | 合　計(件) | 203 (△54) | 200 (△47) | 184 (△47) | 182 (△53) | 191 (△20) | 166 (△88) | 2,330 (△671) |
| 稼働日数(日) | | 31 (-) | 29 (-) | 28 (-) | 28 (-) | 28 (-) | 21 (△10) | 342 (△15) |
| 走行距離(km) | | 4,071 (△1,210) | 3,739 (△1,223) | 3,856 (△825) | 3,578 (△704) | 3,850 (△305) | 3,138 (△2,162) | 45,084 (△15,946) |

② 移送ボランティアグループの育成・支援

〔1〕移送ボランティア連絡会　5回

〔2〕登録ボランティア数38人（△4）　＜運転21人、介助15人、事務2人＞

③　利用登録者数

| 区分 | 高齢者 | 高齢＋障害者 | 障害者 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 登録者数 | 840 (175) | 351 (51) | 94 (6) | 63 (5) | 1,348 (237) |

④　移送ボランティアグループ研修交流会

実施日　11月16日（金）

会場　　社協会議室及び総合センター駐車場

参加者　　18人

内容　　福祉車両及び車イス体験

(2) 高齢者外出援助サービス＜市からの受託事業＞

公共交通機関を使用して外出することが困難な高齢者を対象に、市内６地区の運営委員会によるボランティアが、スロープ式軽車両による外出援助サービスを行いました。

①実施件数

| 月 | | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 予約件数(件) | | 302(32) | 273(△4) | 295(22) | 322(2) | 280(△14) | 292(△7) |
| 実施件数 | 高齢者 | 280(39) | 248(3) | 254(4) | 264(△23) | 242(△11) | 252(△20) |
| | その他 | - (-) | - (-) | - (-) | 1 (1) | - (-) | - (-) |
| | 合 計(件) | 280(39) | 248(3) | 254(4) | 265(△22) | 242(△11) | 252(△20) |
| Ｖ参加数(人) | | 434(23) | 447(△7) | 415(△6) | 441(△29) | 386(△69) | 408(△54) |
| 利用目的 | 通院など | 232(29) | 215(9) | 218(9) | 234(△14) | 210(△7) | 215(△11) |
| | 施設送迎 | 6(-) | 2(△4) | 4(△5) | 3(△1) | 2(△3) | 5(△1) |
| | 行事参加 | - (-) | - (-) | - (△1) | - (-) | - (-) | - (△7) |
| | 行楽 | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) |
| | その他 | 42(10) | 31(△2) | 32(1) | 28(△7) | 30(△1) | 32(△1) |
| | 合 計(件) | 280(39) | 248(3) | 254(4) | 265(△22) | 242(△11) | 252(△20) |
| 稼働日数(日) | | 131(9) | 123(△8) | 128(2) | 126(△11) | 129(4) | 118(△14) |
| 走行距離(km) | | 4,306<br>(431) | 4,112<br>(129) | 4,295<br>(213) | 4,532<br>(△382) | 3,910<br>(153) | 3,949<br>(△683) |

| 月 | | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 予約件数(件) | | 304(20) | 303(51) | 256(△7) | 250(8) | 273(18) | 289(16) | 3,439(137) |
| 実施件数 | 高齢者 | 273(22) | 277(56) | 226(△20) | 219(1) | 244(26) | 261(12) | 3,040(89) |
| | その他 | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | 1 (1) |
| | 合 計(件) | 273(22) | 277(56) | 226(△20) | 219(1) | 244(26) | 261(12) | 3,041(90) |
| Ｖ参加数(人) | | 454(11) | 433(28) | 370(△45) | 378(△14) | 390(10) | 409(△24) | 4,965(△176) |
| 利用目的 | 通院など | 234(26) | 242(57) | 197(△6) | 196(10) | 208(23) | 232(20) | 2,633(145) |
| | 施設送迎 | 3(△12) | -(△9) | 1(△7) | 2(△6) | 5(△3) | 7(4) | 40(△47) |
| | 行事参加 | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (△8) |
| | 行楽 | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) |
| | その他 | 36(8) | 35(8) | 28(△7) | 21(△3) | 31(6) | 22(△12) | 368(-) |
| | 合 計(件) | 273(22) | 277(56) | 226(△20) | 219(1) | 244(26) | 261(12) | 3,041(90) |
| 稼働日数(日) | | 136(12) | 129(8) | 113(△9) | 113(△5) | 119(4) | 130(△7) | 1,495(△15) |
| 走行距離(km) | | 4,413<br>(280) | 4,509<br>(928) | 3,746<br>(△145) | 3,742<br>(106) | 4,128<br>(689) | 4,193<br>(141) | 49,835<br>(1,860) |

②各種会議の開催

〔1〕各地区運営委員長会議の開催（開催回数：3回）

7月13日（金）　11人

ア．運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討

イ．運転協力者現任研修会の開催検討

ウ．実務に関する確認

・29年度事業報告・収支報告

・利用登録者の更新名簿の配付

・気象警報等の周知のお願い

エ．各地区の活動状況報告

11月22日（木）　11人

ア．30年度中間事業報告・収支報告

イ．運転協力者現任研修会の報告

ウ．運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討

エ．実務に関する確認

・年末年始の予約調整及び活動予定

オ．各地区の活動状況報告

3月4日（月）　12人

ア．運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討

イ．実務に関する確認

・30年度利用料の収支精算書の提出

・車両点検の日程調整

・ゴールデンウィークの活動有無の確認

・外出援助サービス約款変更の報告

ウ．各地区の活動状況報告

〔2〕各地区運営委員会の開催（開催回数：19回）

東地区･･･1回、東北地区･･･3回、西北地区･･･1回

西南地区･･･12回、西地区･･･2回、南地区･･･なし

③利用登録者並びに登録ボランティア

| | | 西北 | 南 | 東北 | 西 | 東 | 西南 | 計（人） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 利用登録者数 | | 147<br>(△68) | 217<br>(△53) | 202<br>(△90) | 186<br>(△88) | 130<br>(△39) | 188<br>(△80) | 1,070<br>(△418) |
| V数 | 運転・介助 | 15(△3) | 13(△2) | 19(2) | 30(-) | 9(△1) | 22(△3) | 108(△7) |
| | 事務 | 10(-) | 4(-) | 14(△1) | 9(-) | 11(△1) | 15(-) | 63(△2) |

＊平成30年度利用登録更新実施　　（ボランティア数重複あり）

(3) 国土交通大臣認定運転協力者講習会の開催（開催回数：3回）

運転ボランティアの安定的な確保を図ることを目的に、国土交通省が定める認定講習会を開催しました。

| 開催日 | 有料受講者 | 西北 | 南 | 東北 | 西 | 東 | 西南 | 移送 | その他 | 計(人) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1回　6月16日・23日 | | 1 | | 2 | | | | 1 | | 4 |
| 第2回　10月30日・31日 | | 1 | | 1 | | | 1 | 3 | | 6 |
| 第3回　2月22日・25日 | | 1 | | 1 | | | | | | 2 |

(4) 運転協力者現任研修会の開催（開催回数：1回）

実施日　11月8日（木）

会　場　保健福祉センター　多目的室

受講者　43人(外援/移送)

内　容　交通安全の講話、DVD鑑賞

講　師　寝屋川警察署　職員

## １０．車イス貸出し事業

在宅で車イスが一時的に必要になった人を対象に車イスの貸出しを行いました。

保有台数 61 台（自走式 40 台、介助式 21 台）

### (1) 月別貸出し状況

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 件　数 | 25(△4) | 27(△4) | 24(△2) | 20(△4) | 24(3) | 25(5) | |
| 月 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 件　数 | 34(21) | 30(0) | 26(7) | 32(20) | 31(15) | 20(△9) | 318(48) |

### (2) 年齢別利用状況

| 年　齢 | 49 歳以下 | 50～64 歳 | 65～74 歳 | 75 歳以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 件　数 | 48(16) | 34(4) | 43(9) | 193(19) | 318(48) |

### (3) 貸出し期間別利用状況

| 貸出期間 | 1 週間未満 | 1 か月未満 | 1～2 か月 | 3～4 か月 | 5～6 か月 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 件　数 | 131(32) | 64 (△2) | 38 (7) | 39 (16) | 46 (△5) | 318(48) |

### (4) 利用目的別利用状況

| 利用目的 | 通院 | 散歩 | 日常 | 行事 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 件　数 | 149 (48) | 12(△3) | 76 (△7) | 74(21) | 7(△11) | 318(48) |

## １１．元気アップ介護予防ポイント事業　＜市からの受託事業＞

介護予防サポーターの養成のための登録研修を開催するとともに、サポーター・受入施設の双方から相談を受け、サポート活動の需給調整を図っています。

### (1) サポーター登録者数等

① 登録者数　（累計）493 人（△75）　　＊うち 30 年度新規登録者数 68 人

② 実活動者数　307 人　（△31）

③ 活動内容別参加者数（重複有り）

〔1〕縫製、洗濯物の整理など日常生活を補助する活動……　85 人
〔2〕囲碁、将棋、書道など趣味を活かした交流活動……　101 人
〔3〕傾聴、話し相手などの活動……　69 人
〔4〕紙芝居、朗読などの活動……　185 人
〔5〕ゲーム、歌、歌体操などのレクリエーション活動……　159 人
〔6〕お茶出し、食堂での配膳などの補助活動……　73 人
〔7〕園芸、草刈りなどの補助活動……　70 人
〔8〕施設行事の手伝いなどの活動……　17 人
〔9〕その他施設における軽微かつ補助的な活動……　8 人
計　767 人

### (2) サポーター受入登録施設数

① 高齢者施設　108 施設　(2)　＜新規登録数：4＞
② 障害者施設　12 施設（△1）　＜新規登録数：－＞
③ 児童施設　21 施設　(1)　＜新規登録数：1＞
④ その他の施設　1 施設　(-)　＜新規登録数：－＞
計 142 施設　(2)　＜新規登録数：4＞

### (3) サポーター登録研修の開催（開催回数：5 回）

開催日　5 月 14 日、7 月 9 日、9 月 10 日、11 月 12 日、1 月 21 日
会　場　保健福祉センター5 階　研修室５
参加者　68 人
内　容　介護予防サポーターとは
講師　京都光華女子大学　准教授　石井　祐里子　氏

(4) 登録サポーター実力向上研修の開催（開催回数：1回）

登録者を対象としてサポーター活動のスキルアップを図ることを目的に開催しました。

開催日　　2月15日（金）
会　場　　保健福祉センター4階　健康指導室
参　加　　登録サポーター　40人
内　容　　講　演　：　「サポーター活動を楽しく続けるための接遇講座」
講　師　　寝屋川市社会福祉協議会　ボランティアセンター　相談員　新宅　智子　氏
　　かんでんライフサポート株式会社　ケア事業部　　課　長　松下　純子　氏

(5) 施設情報説明会の開催（開催回数：1回）

開催日　　8月9日（木）
会　場　　保健福祉センター5階　多目的ホール
参　加　　登録サポーター　38人
　　受入登録施設　　14施設　14名
内　容　　情報交換会　　サポーターと施設の個別相談会

(6) 登録サポーター交流会の開催（開催回数：1回）

登録サポーター同士の交流と親睦を深めることを目的に開催しました。

開催日　　3月12日（火）
会　場　　保健福祉センター4階　健康指導室
参　加　　登録サポーター　34人

(7) 需給調整

| 相　談 | 調　整 | 成　立 | 不成立 |
|---|---|---|---|
| 127(28) | 127(28) | 51(△10) | 15(1) |

(8) 介護予防ポイント転換交付金の交付

| | |
|---|---|
| 交付人数 | 309人(△5人) |
| 延べ活動日数 | 11,023日(92日) |
| ポイント転換金額 | 2,083,200円(24,000円) |

## １２．救急医療情報キット普及事業　＜市からの受託事業＞

ひとり暮らし高齢者に救急医療情報などを記載した用紙を収納する「命のカプセルあんしん」を配付しています。そして、毎年春に行うひとり暮らし高齢者調査に伴う訪問の際に、定期情報更新を行います。

【キット配付・情報更新件数】

| | |
|---|---|
| キット配付数 | 958　個 |
| 情報更新件数 | 8,424　件 |

## １３．福祉総合相談事業

市民からのさまざまな相談や地域の支援に応じ、福祉サービスや関係機関との連携、各種社会資源へのつなぎ等を行い、問題の解決・改善を図りました。

### 地域福祉支援概要

（個人を支える社協の取り組み）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 個別支援 | 移送サービス事業実施件数 | | 2,330 | 件 |
| | 外出援助サービス事業実施件数 | | 3,041 | 件 |
| | 元気アップ介護予防ポイント事業 | | 767 | 件 |
| | 各地区まちかど福祉相談活動件数 | | 832 | 件 |
| | 車イス貸出件数 | | 318 | 件 |
| | 個別ケース総合相談 | | 107 | 件＊内訳別掲 |
| | 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業契約件数 | | 127 | 件 |
| | 生活困窮者自立支援事業 | | 2,288 | 件 |
| | 生活福祉資金貸付事業 | | 994 | 件 |
| | 日常生活自立支援事業 | | 103 | 件 |
| | | 個別支援件数 | 10,907 | 件 |
| | | | (△424) | |

（地域を支える取り組み）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 地域支援 | 各校区福祉委員会など | | 406 | 件 |
| | 校区福祉委員長協議会 | | 144 | 件 |
| | 各校区ボランティア部会 | | 34 | 件 |
| | 校区ボランティア部会長会 | | 144 | 件 |
| | 福祉教育実施 | | 69 | 件 |
| | | 地域支援件数 | 797 | 件 |
| | | | (△57) | |
| | (参考)CSW の地域支援頻度 | １月あたり | 66.4 | 回 |
| | | １月の CSW ひとりあたり | 11.1 | 回 |
| | 個別支援、地域支援合計 | | 11,704 | 件 |
| | | | (△481) | |
| 事務支援 | ボランティア保険事務 | 総合保険 | 137 | 件 |
| | | 行事保険 | 660 | 件 |
| | | 加入者数 | 39,419 | 人 |

※個別ケース総合相談　107 件の内訳概要

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| どこから | 来所 | 37 | 電話、電子メールなど | 51 | 出向いて | 19 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 相談者は | 本人 | 36 | 家族 | 12 | 福祉委員会 | 28 |
| | 関係機関 | 22 | 知人など | 9 | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| この内容は（複数回答あり） | 見守り活動 | 53 | ボランティア活動 | 12 | 個別ケース調整 | 24 | 社協の他の取り組み | 11 |
| | 介護・健康など | 36 | 障害・健康など | 31 | 乳幼児童・健康など | 5 | 生活費など | 31 |
| | 近隣のこと | 25 | 法律に関すること | 15 | 生き方について | 14 | その他 | 9 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 対応 | 終了 | 66 | 支援継続中 | 41 |

| | | |
|---|---|---|
| 対応の内容は（複数回答あり） | 福祉関係機関や福祉委員会と協議し、制度の活用や取り組みを検討した。又は、図った。 | 47 |
| | 情報提供を行い、対応手順を示した。又は、共に対処した。 | 84 |
| | 傾聴を行った。 | 56 |

| | | |
|---|---|---|
| 支援形態は（複数回答あり） | 支援機関は明らかだが、CSWが支援した。（他機関との連携、共同支援） | 63 |
| | 主たる支援機関が未確定のため、CSWが支援した。（切れ目なく支援を継続するため） | 37 |
| | 制度のはざまを補うため、CSWが支援した。（支援者の増援を求めるため） | 30 |

## １４．赤い羽根共同募金事業

赤い羽根共同募金活動を関係機関の協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図ります。

### (1) 赤い羽根共同募金運動の実施

10月1日に民生委員・児童委員を中心に街頭募金を実施したことをはじめ、自治会の協力のもと戸別募金、事業所募金の実施、市内の公立小中学校で学校募金の実施、社会福祉施設等で募金箱の設置など、全市的に募金活動を展開しました。

①募金実績額　（単位：円）

| 募金区分 | 30年度実績額 | 29年度実績額 | 前年度比 |
|---|---|---|---|
| 戸別募金 | 12,508,316 | 12,932,497 | △424,181 |
| 事業所募金 | 693,700 | 843,075 | △149,375 |
| 学校募金 | 124,976 | 89,872 | 35,104 |
| 職域募金 | 59,571 | 64,968 | △5,397 |
| 街頭募金 | 53,340 | 96,332 | △42,992 |
| バッジ募金 | 427,000 | 356,000 | 71,000 |
| その他（※） | 245,390 | 148,661 | 96,729 |
| 計 | 14,112,293 | 14,531,405 | △419,112 |

※その他の内訳（社会福祉施設等の募金箱など）

②校区福祉委員会別募金額　（単位：円）

| 福祉委員会 | 戸別募金額 | 事業所募金額 | 計 |
|---|---|---|---|
| 池田 | 672,547 | 13,500 | 686,047 |
| 石津 | 143,383 | － | 143,383 |
| 宇谷 | 302,977 | 11,500 | 314,477 |
| 梅が丘 | 250,978 | 10,000 | 260,978 |
| 神田 | 520,210 | 31,100 | 551,310 |
| 北 | 719,837 | 13,200 | 733,037 |
| 木田 | 443,314 | 133,900 | 577,214 |
| 楠根 | 228,137 | 9,500 | 237,637 |
| 国松緑丘 | 415,216 | － | 415,216 |
| 啓明 | 490,003 | 4,600 | 494,603 |
| 木屋 | 554,392 | 23,300 | 577,692 |
| 桜 | 256,643 | 44,300 | 300,943 |
| 点野 | 513,298 | 69,600 | 582,898 |
| 成美 | 885,229 | 156,000 | 1,041,229 |

| 福祉委員会 | 戸別募金額 | 事業所募金額 | 計 |
|---|---|---|---|
| 田井 | 255,081 | 26,000 | 281,081 |
| 第五 | 2,090,963 | 36,100 | 2,127,063 |
| 中央 | 537,221 | 41,900 | 579,121 |
| 西 | 390,461 | 18,600 | 409,061 |
| 東 | 755,620 | 600 | 756,220 |
| 堀溝 | 631,632 | 4,800 | 636,432 |
| 三井 | 281,258 | - | 281,258 |
| 南 | 634,921 | 27,300 | 662,221 |
| 明和 | 140,000 | - | 140,000 |
| 和光 | 394,995 | 17,900 | 412,895 |
| 計 | 12,508,316 | 693,700 | 13,202,016 |

(2) 共同募金配分結果

平成30年度に行われた共同募金等は、大阪府共同募金会にて審査され、以下の施設等に配分されました。

〔1〕 赤い羽根共同募金による配分　　（1件 10,358,399円）

① 社会福祉協議会　　10,358,399円

（機関紙「虹」発行費用、校区福祉委員会がとりくむ地域福祉活動への補助、移送サービス事業の運営費等、地域福祉推進のための事業に活用）

〔2〕 ＮＨＫ歳末たすけあいによる配分　（2件　1,894,000円）

① ワークセンター小路　　1,840,000円（送迎用車両設置）

② 月の輪学院　　54,000円（事業費・入学進学支度金）

## １５．歳末たすけあい運動事業

市政協力委員自治推進協議会など関係機関の協力や地域貢献委員会の施設、公立保育所等に募金箱の設置協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図りました。

(1)募金実績額　（単位：円）

| 募金区分 | 30年度実績額 | 29年度実績額 | 前年度比 |
|---|---|---|---|
| 戸別募金 | 11,465,068 | 11,904,397 | △ 439,329 |
| 事業所募金 | 919,200 | 877,600 | 41,600 |
| 街頭募金 | 175,795 | 165,270 | 10,525 |
| その他 | 264,641 | 290,252 | △25,611 |
| 計 | 12,824,704 | 13,237,519 | △ 412,815 |

※「その他」は社会を明るくする運動、施設、個人

(2)校区福祉委員会別募金額　（単位：円）

| 福祉委員会 | 戸別募金額 | 事業所募金額 | 計 |
|---|---|---|---|
| 池田 | 698,634 | - | 698,634 |
| 石津 | 138,783 | - | 138,783 |
| 宇谷 | 286,656 | 12,500 | 299,156 |
| 梅が丘 | 213,015 | 10,000 | 223,015 |
| 神田 | 458,390 | 23,000 | 481,390 |
| 北 | 710,898 | 37,300 | 748,198 |
| 木田 | 420,992 | 136,500 | 557,492 |
| 楠根 | 189,110 | 6,000 | 195,110 |
| 国松緑丘 | 388,624 | - | 388,624 |
| 啓明 | 466,098 | 80,400 | 546,498 |
| 木屋 | 503,349 | 57,100 | 560,449 |
| 桜 | 269,604 | 59,500 | 329,104 |
| 点野 | 523,154 | 34,000 | 557,154 |
| 成美 | 734,507 | 117,000 | 851,507 |
| 田井 | 353,810 | 20,000 | 373,810 |
| 第五 | 1,782,955 | 59,500 | 1,842,455 |
| 中央 | 527,458 | 33,000 | 560,458 |
| 西 | 363,866 | 124,000 | 487,866 |
| 東 | 688,486 | - | 688,486 |
| 堀溝 | 472,217 | 59,900 | 532,117 |
| 三井 | 248,038 | 1,000 | 249,038 |
| 南 | 520,361 | 36,000 | 556,361 |
| 明和 | 133,000 | - | 133,000 |
| 和光 | 373,063 | 12,500 | 385,563 |
| 計 | 11,465,068 | 919,200 | 12,384,268 |

(3)配分実績

① 地域福祉活動に対する配分　11,399,753円

② 生活緊急支援金給付事業への配分　－円

③ 災害ボランティアセンター備品整備への配分　231,290円

計　11,631,043円

＊〔地域福祉活動に対する配分〕の詳細は次のとおり

【校区福祉委員会】　（単位：円）

| | 計 |
|---|---|
| 池田校区福祉委員会 | 526,260 |
| 石津校区福祉委員会 | 272,250 |
| 宇谷校区福祉委員会 | 330,862 |
| 梅が丘校区福祉委員会 | 279,133 |
| 神田校区福祉委員会 | 398,700 |
| 北校区福祉委員会 | 621,155 |
| 木田校区福祉委員会 | 435,055 |
| 楠根校区福祉委員会 | 236,545 |
| 国松緑丘校区福祉委員会 | 383,237 |
| 啓明校区福祉委員会 | 421,537 |
| 木屋校区福祉委員会 | 442,900 |
| 桜校区福祉委員会 | 414,321 |
| 点野校区福祉委員会 | 446,627 |
| 成美校区福祉委員会 | 428,238 |
| 田井校区福祉委員会 | 426,941 |
| 第五校区福祉委員会 | 813,463 |
| 中央校区福祉委員会 | 522,267 |
| 西校区福祉委員会 | 349,980 |
| 東校区福祉委員会 | 475,931 |
| 堀溝校区福祉委員会 | 302,080 |
| 三井校区福祉委員会 | 470,999 |
| 南校区福祉委員会 | 456,048 |
| 明和校区福祉委員会 | 318,156 |
| 和光校区福祉委員会 | 495,718 |
| 計 | 10,268,403 |

【当事者や家族の福祉団体】　（単位：円）

| 団　体　名 | 計 |
|---|---|
| 寝屋川市身体障害者福祉会 | 56,640 |
| 寝屋川市障害児者を守る親の会 | 36,640 |
| 寝屋川市肢体不自由児（者）父母の会 | 24,800 |
| 寝屋川市障朋会 | 29,120 |
| 寝屋川市精神障害者家族会 | 23,520 |
| 寝屋川市母子寡婦福祉会 | 64,800 |
| 寝屋川市原爆被害者の会 | 40,640 |
| 全国膠原病友の会大阪支部寝屋川会 | 24,800 |
| 神経筋難病患者家族の会「ひまわり会」 | 22,720 |
| 寝屋川市難病連絡会 | 24,320 |
| 計 | 348,000 |

【ボランティアセンター登録団体】　（単位：円）

| 団　体　名 | 計 |
|---|---|
| ＳＡ寝屋川連絡会 | 11,700 |
| アスパラの会 | 10,400 |
| うきうきわくわく音心の会 | 6,500 |
| 栄光会 | 3,900 |
| 園芸福祉ボランティアらぶ | 34,950 |
| 大阪睦会 | 9,750 |
| 北河内傾聴ボランティア「１４の耳」 | 14,300 |
| 家庭介護援助ボランティアほうれんそう | 7,800 |
| 擬似体験ボランティアうらしまさん | 28,450 |
| 北校区子育てサロンパッチワーク | 6,500 |
| 京阪ナツメロ愛好会 | 21,450 |
| 手話サークルひびき | 5,200 |
| すみれの会 | 6,500 |
| 地域ボランティアなの花会 | 7,150 |
| 点訳ボランティアつくしの会 | 30,400 |
| 車椅子レクダンス普及会「矢車草の会」 | 4,550 |
| 日曜大工ボランティアとんかちクラブ | 9,100 |
| 寝屋川市身体障害者福祉会視覚部会 | 24,550 |
| 寝屋川市民たすけあいの会 | 42,900 |
| ホームページ作成ボランティアくりっくねっと☆ | 24,550 |
| ボランティア・みい | 24,050 |
| 要約筆記サークル「バンビ」 | 2,600 |

| 団　体　名 | 計 |
|---|---|
| みんなでつくる学校とれぶりんか | 5,200 |
| 朗読ボランティアにじの会 | 18,200 |
| わくわく未来塾 | 38,850 |
| 天満天神の会 | 30,550 |
| ブリッヂこだま | 8,450 |
| おっとこまえの会 | 3,250 |
| ＭＯＡ健康生活ねやがわネットワーク | 11,050 |
| さつき会 | 9,750 |
| 美鈴会 | 14,300 |
| なんぼーず | 1,300 |
| 仲よし会 | 5,200 |
| 計 | 483,350 |

【寝屋川市介護者の会】　（単位：円）

| 団　体　名 | 計 |
|---|---|
| 寝屋川市介護者の会 | 300,000 |

## １６．広報事業

市民に福祉サービスや福祉の情報を伝えることで、地域福祉に関心を持ち、理解が得られるよう工夫しさまざまな方法で情報発信を行いました。

### (1) 機関紙の発行

#### ① 機関紙「虹」の発行（発行：4回）

| 号/発行日（部数） | 主な内容 |
|---|---|
| 143号<br>5月1日<br>(115,500) | ・ 平成30年度　事業計画、重点項目、予算<br>・ 特集　第2次寝屋川市地域福祉活動計画「未来福祉ねやがわプラン」策定<br>・ 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業～利用者家族の声～<br>・ 校区福祉委員会活動紹介　～啓明校区・成美校区～<br>・ お仕事のこと、ひとりで悩まないで<br>・ ボランティアセンター活動の手引き／災害ボランティアセンターって？<br>・ お知らせコーナー（募集、案内、紹介）<br>・ インタビュー　地域のヒト！（近藤　幸男さん／木屋校区福祉委員会） |
| 144号<br>8月1日<br>(115,500) | ・ 平成29年度　事業報告、決算報告<br>・ 特集　気軽に集える場所を目指して　ひとり暮らし高齢者の会<br>・ 大阪北部地震における支援状況報告<br>・ 校区福祉委員会活動紹介　～宇谷校区・三井校区～<br>・ 寝屋川市駅前で今年度もやってます！チョット寄ってん家！<br>・ ひとりで悩まないで！介護者の会／声のボランティア「にじの会」<br>・ お知らせコーナー（募集、案内）<br>・ インタビュー　地域のヒト！（今井　義輝さん／木田校区福祉委員会） |
| 145号<br>11月1日<br>(115,500) | ・ 歳末たすけあい運動が始まります！<br>・ 災害に備えた社会福祉協議会の取り組み<br>・ 校区福祉委員会活動紹介～木屋校区・石津校区～<br>・ 福祉拠点「チョット寄ってん家」に寄ってみませんか？<br>・ ねやがわ市民ふくし講座で学び合う<br>・ お知らせコーナー（紹介、募集、案内）<br>・ インタビュー　地域のヒト！（中村　一二三さん／東校区福祉委員会） |
| 146号<br>2月1日<br>(115,500) | ・ あなたも地域福祉の担い手になりませんか？会員募集<br>・ 就労準備支援事業を利用した方の声<br>・ 校区福祉委員会活動紹介～木田校区・楠根校区～<br>・ 広がる！かぎ預かり事業<br>・ 求む！主人公　あなたの想いを寝屋川に　「しゃべり場」を開催<br>・ お知らせコーナー（案内、募集）<br>・ インタビュー　地域のヒト！（石川　博張さん／宇谷校区福祉委員会） |

② 広報編集委員会の開催　（開催回数：8回）

本会機関紙「虹」発行のために広報編集委員会を開催しました。（主な案件：紙面内容の検討）

開催日及び参加人数　5月23日（水）6人、6月22日（金）5人、8月22日（水）8人、
10月2日（火）7人、11月14日（水）7人、12月20日（木）5人、
2月18日（月）7人、3月25日（月）7人

(2) 福祉広報研修会の開催　　（開催回数：1回）

開催日　12月4日（火）、12月11日（火）

会　場　保健福祉センター5階　研修室5

参加者　21人（1日目）、20人（2日目）

内　容　「読まれる・伝わる広報紙をつくろう」～地域の魅力を発信し、愛される広報紙に～

講　師　増田　ゆきみ　氏（株式会社ペンコム　代表取締役）

(3) ホームページの運営

毎月第3月曜日、ボランティアグループくりっくねっと☆の定例会時に更新、その他必要に応じて随時更新しました。

寝屋川市社会福祉協議会 ホームページ　　http://www.neyagawa-shakyo.or.jp/

(4) 公式SNSページの運営

Instagram、Facebook、Twitterの公式ページを立ち上げ、日々のサロン活動など福祉情報について随時更新しました。

Instagram　https://www.instagram.com/neyagawashishakyo/?hl=ja

Facebook　https://fb.me/NeyagawashiShakyo

Twitter　https://twitter.com/NeyagawaShakyo

## １７．調査・研究事業

### (1) ひとり暮らし高齢者調査の実施

本会・校区福祉委員会と民生委員児童委員協議会が共催で、65 歳以上のひとり暮らし高齢者数の調査を行いました。

[平成 30 年４月１日現在]

| 校区福祉委員会名 | 台帳提出者 | 未記入者 | 入院中の人 | 合計 | 前年比増減 |
|---|---|---|---|---|---|
| 池田 | 387 | 37 | 11 | 435 | △ 42 |
| 石津 | 117 | 3 | 6 | 126 | 19 |
| 宇谷 | 142 | 25 | - | 167 | 25 |
| 梅が丘 | 251 | 1 | 6 | 258 | 8 |
| 神田 | 253 | 21 | 2 | 276 | 8 |
| 北 | 421 | 10 | 11 | 442 | 19 |
| 木田 | 371 | 38 | 10 | 419 | △ 14 |
| 楠根 | 136 | 14 | 2 | 152 | 9 |
| 国松緑丘 | 259 | 12 | 7 | 278 | 10 |
| 啓明 | 336 | 38 | 10 | 384 | - |
| 木屋 | 266 | 15 | 3 | 284 | 19 |
| 桜 | 365 | 25 | 13 | 403 | 67 |
| 点野 | 377 | 14 | 4 | 395 | 27 |
| 成美 | 416 | 31 | 3 | 450 | △ 8 |
| 田井 | 318 | 23 | 6 | 347 | 6 |
| 第五 | 500 | 54 | 8 | 562 | 17 |
| 中央 | 367 | 17 | 16 | 400 | 2 |
| 西 | 255 | 10 | 4 | 269 | △ 5 |
| 東 | 225 | 12 | 11 | 248 | 13 |
| 堀溝 | 172 | 10 | 8 | 190 | 5 |
| 三井 | 676 | 35 | 9 | 720 | 14 |
| 南 | 444 | 12 | 13 | 469 | 17 |
| 明和 | 178 | - | 16 | 194 | △ 15 |
| 和光 | 373 | 12 | 6 | 391 | 4 |
| 合計 | 7,605 | 469 | 185 | 8,259 | 205 |
| 前年比増減 | 161 | 30 | 14 | 205 | |

(2) 緊急時安否確認に関する状況把握の実施

地域における孤立死の状況や異変の発見時や緊急対応時の問題点を明らかにするために状況調査を行いました。

① 校区別孤立死等の発見状況

| 校区 | 生前に発見 | 死後に発見 | 計 |
|---|---|---|---|
| 池田 | -(-) | 1(△1) | 1(△1) |
| 石津 | -(-) | 2(2) | 2(2) |
| 宇谷 | -(-) | -(-) | -(-) |
| 梅が丘 | -(-) | -(△1) | -(△1) |
| 神田 | -(-) | 1(1) | 1(1) |
| 北 | -(△1) | 3(△1) | 3(△2) |
| 木田 | -(△2) | 2(△3) | 2(△5) |
| 楠根 | -(△2) | -(△1) | -(△3) |
| 国松緑丘 | -(-) | -(△1) | -(△1) |
| 啓明 | -(-) | 1(1) | 1(1) |
| 木屋 | -(△1) | 1(△1) | 1(△2) |
| 桜 | 1(△1) | 3(2) | 4(2) |
| 点野 | 5(4) | 1(-) | 6(4) |
| 成美 | -(-) | -(△1) | -(△1) |
| 田井 | -(-) | 2(△2) | 2(△2) |
| 第五 | -(-) | -(△2) | -(△2) |
| 中央 | -(-) | 3(3) | 3(3) |
| 西 | -(△1) | 1(△2) | 1(△3) |
| 東 | -(-) | 1(1) | 1(1) |
| 堀溝 | 1(△2) | -(-) | 1(△2) |
| 三井 | -(△1) | 3(△6) | 3(△7) |
| 南 | -(△1) | 2(2) | 2(1) |
| 明和 | -(-) | 1(-) | 1(-) |
| 和光 | -(-) | 1(1) | 1(1) |
| 計(人) | 7(△7) | 29(△9) | 36(△16) |

② 対象者の年齢

| 年齢 | 生前に発見 | 死後に発見 | 計 |
|---|---|---|---|
| 50歳未満 | -(△1) | -(-) | -(△1) |
| 50歳以上～65歳未満 | -(△2) | 2(△3) | 2(△5) |
| 65歳以上～75歳未満 | 4(3) | 9(△2) | 13(1) |
| 75歳以上 | 2(△8) | 17(△4) | 19(△12) |
| 不詳 | 1(1) | 1(-) | 2(1) |
| 計 | 7(△7) | 29(△9) | 36(△16) |

③ 発見者

| 発見者 | 生前に発見 | 死後に発見 | 計 |
|---|---|---|---|
| 家族・親族 | -(-) | 2(△6) | 2(△6) |
| 近隣住民 | 2(△2) | 11(2) | 13(-) |
| 友人・知人 | -(△1) | 3(1) | 3(-) |
| 福祉委員（民生委員含む） | -(△5) | -(△3) | -(△8) |
| 自治会役員 | -(-) | 1(1) | 1(1) |
| 新聞・宅配業者 | -(-) | 3(-) | 3(-) |
| 福祉サービス関係者 | 4(2) | 6(△3) | 10(△1) |
| 不　詳・その他 | 1(△1) | 3(△1) | 4(△2) |
| 計 | 7(△7) | 29(△9) | 36(△16) |

④ 発見までの日数（死後発見のみ）

| 発見までの日数 | 件数 |
|---|---|
| 死亡当日～死後１日 | 9(△7) |
| 死後２日～３日 | 5(-) |
| 死後４日～７日 | 4(-) |
| 死後８日以上 | 5(△4) |
| 不詳 | 6(2) |
| 計 | 29(△9) |

⑤ かぎ預かり利用契約の有無

| かぎ預かり事業契約有無 | 生存 | 死亡 | 計 |
|---|---|---|---|
| 有り | 2(△3) | 1(△3) | 3(△6) |
| 無し | 5(△4) | 28(△6) | 33(△10) |
| 計 | 7(△7) | 29(△9) | 36(△16) |

## 18. 地域包括支援センター事業＜市からの受託事業＞

第三中学校区、第八中学校区の地域包括支援センターの運営を行っています。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのため、市や介護、福祉、医療など地域の関係機関や団体等との連携協力の下、健康、生活、財産、権利などを守りながら生活を支えるための仕組みづくりを行っています。

### (1) 総合相談・支援

高齢者に関する相談に対応するとともに、必要な支援を行い問題の解決・改善に努めました。

（相談経路）

| | 電話 | 来所 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 三中包括 | 420(28) | 217(-) | 28 (18) | 665 (46) |
| 八中包括 | 203(△96) | 139(7) | 8(△2) | 350(△91) |

（相談者の内訳）

【三中包括】

| 内　訳 | 件　数 | 内　訳 | 件　数 | 内　訳 | 件　数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本人 | 159(48) | ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ | 68(△14) | 市役所 | 35(2) |
| 家族 | 239(1) | ｻｰﾋﾞｽ事業所 | 19(6) | その他 | 17(△6) |
| 知人・近隣 | 31(2) | 医療機関 | 49(9) | | |
| 福祉委員等 | 39(4) | 警察 | -(△1) | | |
| 他包括 | 5(△2) | 関係機関 | 4 (△3) | 計 | 665(46) |

【八中包括】

| 内　訳 | 件　数 | 内　訳 | 件　数 | 内　訳 | 件　数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本人 | 70(△1) | ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ | 36(△70) | 市役所 | 24(3) |
| 家族 | 121(△16) | ｻｰﾋﾞｽ事業所 | 8(3) | その他 | 4(△3) |
| 知人・近隣 | 11(△6) | 医療機関 | 26(7) | | |
| 福祉委員等 | 32(△4) | 警察 | -(△1) | | |
| 他包括 | 8(3) | 関係機関 | 10(△6) | 計 | 350(△91) |

（相談件数及び内容）

| 内容 | 新規要支援者 | 介護保険申請 | 二次予防高齢者 | 介護サービスについて | ケアマネとの調整 | 認知症について | 精神疾患について | 医療について | 虐待関係 | 権利擁護 | 生活上の相談（その他含） | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 三中包括 | 64 (47) | 104 (△22) | - (－) | 180 (68) | 22 (△36) | 16 (△8) | 1 (△3) | 2 (△2) | 10 (△4) | - (△1) | 266 (7) | 665 (46) |
| 八中包括 | 3 (△11) | 89 (9) | - (△3) | 70 (15) | 11 (△25) | 7 (△5) | 3 (1) | 1 (△1) | 9 (△3) | 5 (△8) | 152 (△60) | 350 (△91) |

(2) 介護予防ケアマネジメントの実施

①「非該当」となった方への支援件数

要介護認定において「非該当」となった方で基本チェックリストを通じて、支援対象となった方について、地域包括支援センターがプラン作成を行いました。

| | 計 |
|---|---|
| 三中包括 | - (-) |
| 八中包括 | 1 (-) |

② 介護予防講座等の開催及び運営支援

地域包括支援センター主催による介護予防の取り組みから地域主体による介護予防の取り組みへの働きかけ、支援をしています。

| | 主催 | 運営支援 |
|---|---|---|
| 三中包括 | 2(-) | 19(△5) |
| 八中包括 | -(△17) | 43 (16) |

(3) 権利擁護、高齢者虐待の防止・早期発見のための取り組み

継続的に高齢者虐待、権利擁護に対して関係機関と連携し様々な制度、サービスの調整等を行いました。(新規対応分)

| | 計 |
|---|---|
| 三中包括 | 7 (△3) |
| 八中包括 | 17(6) |

(4) 包括的・継続的ケアマネジメントの支援

ケアマネジャーや介護保険事業所への支援を実施した件数 (新規対応分)

① 困難ケースにおける助言・支援件数

| | 計 |
|---|---|
| 三中包括 | 7 (△19) |
| 八中包括 | 25(10) |

② 地域との連携に向けた会議・研修会・広報啓発活動

【三中包括】 計 44 回 (△2)

＜市域＞

・地域包括支援センターの設置に係る事業者選定員会・・・・・・・・・・1回
・寝屋川市地域包括支援センター代表者会議・・・・・・・・・・・・・・1回
・寝屋川市高齢者保健福祉計画推進委員会(地域包括支援センター運営協議会)
・寝屋川市地域ケア会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回
・寝屋川市在宅医療・介護連携推進協議会 ・・・・・・・・・・・・・・3回
・介護予防推進に向けたセルフマネジメント支援に係るプロジェクトチーム会議(予防手帳つくり)・・・・・・・・・・・・2回

・認知症介護家族交流会 ・・・・・・・・・・・・・・・1回
・プロジェクト会議（認知症初期集中支援チーム実績報告）・・・・・・2回
・高齢者虐待専門部会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回
・高齢者虐待防止ネットワーク会議・・・・・・・・・・・・・・・・・1回

＜西北圏域＞ ・地域包括、ＣＳＷ連携会議 ・・・・・・・・・・・・・・・12回
・西北コミセンまつり（２日間）：相談コーナー・・・・・・・・・・・1回
・介護者の会第１分会への参加 ・・・・・・・・・・・・・・・1回

＜三中圏域＞ ・運営推進会議（4施設） ・・・・・・・・・・・・・・・5回

＜北校区＞ ・校区サロンへの参加 ・・・・・・・・・・・・・・・・・6回
・北校区福祉まつり：相談コーナー ・・・・・・・・・・・・・1回

＜田井校区＞ ・校区サロンへの参加 ・・・・・・・・・・・・・2回
・敬老のつどい:相談コーナー ・・・・・・・・・・・・・1回
・校区小地域ネットワーク推進会議・・・・・・・・・・・・・・・・・2回

【八中包括】 計92回（36）

＜市域＞ ・地域包括支援センターの設置に係る事業者選定委員会・・・・・・・1回
・寝屋川市地域包括支援センター代表者会議 ・・・・・・・・・・・1回
・寝屋川市高齢者保健福祉計画推進委員会（地域包括支援センター運営協議会）
・・・・・・・・・1回
・介護予防推進に向けたセルフマネジメント支援に係るプロジェクトチーム
会議（地域資源プロジェクトチーム）・・・・・・・・・・・・2回
・寝屋川市地域ケア会議 ・・・・・・・・・・・・・1回
・寝屋川市在宅医療・介護連携推進協議会・・・・・・・・・・・・・3回
・認知症介護家族交流会 ・・・・・・・・・・・・・1回
・高齢者虐待専門部会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回
・高齢者虐待防止ネットワーク会議・・・・・・・・・・・・・・・・・1回

＜西圏域＞ ・地域包括、ＣＳＷ連携会議 ・・・・・・・・・・・・・・・12回
・市老人クラブ連合会（西圏域）健康講座・・・・・・・・・・・・・・1回
・西コミセンまつり （受付・包括ＰＲ）・・・・・・・・・・・・・・・1回

＜八中圏域＞ ・第八中学校区健康＆福祉なんでも相談会・・・・・・・・・・・・・・・6回
・運営推進会議(4施設) ・・・・・・・・・・・・・・・12回

＜点野校区＞ ・点野校区民生委員児童委員協議会（包括の説明）・・・・・・・・・・・1回
・点野校区福祉委員会地区長会（包括の説明）・・・・・・・・・・・・1回
・元気アップ体操教室づくりの打合せ ・・・・・・・・・・・・・・2回
・地区サロンへの参加 ・・・・・・・・・・・・・・・9回

＜西校区＞ ・西校区福祉委員会役員会（包括の説明等）・・・・・・・・・・・・・・2回
・西校区まちかど福祉相談員連絡会（包括の説明）・・・・・・・・・・1回
・西校区まちかど福祉相談所への参加・・・・・・・・・・・・・・・・23回
・地区サロンへの参加 ・・・・・・・・・・・・・・・9回

(5) 地域ケア会議

医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスなど専門多職種の協働のもと、公的サービスのみならず他の社会資源も積極的に活用することができる連携の場として日常生活圏域及び包括圏域内で開催しました。また、介護予防支援として自立支援を促す為、「自立支援型地域ケア会議」が位置付けられています。

【三中包括】

自立支援型地域ケア会議　＜基本　月４回開催＞

要支援１．２の新規及び更新プランの内、デイサービス又は、身体介護を伴うホームヘルプサービスを必要とするプランに加え、約３か月間の短期間、集中的に運動機能の向上などを図る短期集中型デイサービスを利用するプランについても、「自立支援型地域ケア会議」に諮ることになりました。

| 開催回数 | 件数 |
|---|---|
| 20(１) | 57(33) |

個別課題解決型地域ケア会議関係　＜8回（△1）＞

| No | 主たる項目 | 出席機関団体<br>(包括以外) | 方針・結果 |
|---|---|---|---|
| 1 | 退院後の生活について、関係者間で対応を検討する。 | ケアマネジャー･本人・ＰＴ・ＯＴ・看護師・MSW | 本人の心理状況や、家族の課題について関係者間で共有。施設探しなどの役割決めを行う。 |
| 2 | 本人の問題行動が頻回となり、関係者間で検討する。 | 水道局職員・ケアマネジャー | 精神科受診を進め、公的な金銭管理につなげ、介護保険サービスつなげる。 |
| 3 | 介護サービスを拒否。熱中症で入院、同じリスクを繰り返すため、退院後の支援について検討する。 | ケアマネジャー・看護師・本33人・家族 | 退院後は、ヘルパーやデイサービスを利用しながら生活を行う。いずれ生まれ故郷で施設入所が行えるように親族に協力を依頼する。情報を共有する。 |
| 4 | 認知症で、人工透析を受けている父親と知的障がいの息子の世帯で生活上の問題点について検討する。 | ケアマネジャー・訪問介護・計画相談専門員〈障害〉 | 世帯の生活状況を把握し、介護保険と障害サービスが遅滞なく利用できるよう情報の共有をする。 |
| 5 | 電気、ガスが止まり今後の在宅生活が可能か否かを検討する。 | ケアマネジャー・本人・家族・市議会議員・施設管理者 | 公的な金銭管理の手続きを行い、小規模多機能型居宅介護を利用し在宅での生活を支援する。 |
| 6 | 祖父母と孫の世帯で祖父からの暴言や暴力への対応について検討する。 | 高齢介護室、こどもを守る課、ケアマネジャー、介護保険事業所職員 | 祖父の暴言、暴力について情報の共有。方針は、精神科医院へ繋ぐ。市、関係期間、包括との連携を密にすることを確認 |

| No | 主たる項目 | 出席機関団体<br>(包括以外) | 方針・結果 |
|---|---|---|---|
| 7 | 認知症の親と知的障がいがある息子の世帯が介護保険サービスと障害サービスを利用し、連携してサービスが継続が可能かの検討をする。 | ケアマネジャー・訪問介護・計画相談員専門員（障害）・看護師 | 介護保険サービス、障害サービスで対応する領域分担を行った。地域への見守りを依頼する。 |
| 8 | 視力障害があり、警察に保護された一人暮らし高齢者の今後在宅生活が継続できるか否かを検討をする。 | ケアマネジャー・保護課・本人・娘夫婦 | 失明状態の為医療に繋ぎ、一人暮らしでの在宅生活の継続について検討の結果、施設入所の方向に決まった。 |

ネットワーク型地域ケア会議関係　<8回（-）>

| 主たるテーマ | 回数 | 出席機関団体<br>(包括以外) | 会議の主な内容 |
|---|---|---|---|
| ＜西北圏域＞<br>総合事業、モデル事業についての説明 | 1 | ・居宅介護支援事業所<br>・高齢介護室 | 総合事業及び短期集中通所サービスがケアマネジャーの混乱を防ぎ、スムーズに業務が進められるように情報整理を行う |
| ＜西北圏域＞<br>一人ケアマネ情報交換会 | 2 | ・居宅介護支援事業所 | 一人ケアマネが日頃疑問に思っていることや悩みなどを気軽に相談できる場 |
| ＜西北圏域＞<br>リハビリ職とネットワークの構築 | 1 | ・リハビリ職<br>・居宅介護支援事業所 | 医療と介護の連携で、リハ職と連携を行い、顔の見える関係を構築し、今後の支援において医療との連携に役立てていく |
| ＜西北圏域＞<br>医療と介護の相互理解を深める | 1 | ・相談員（病院）<br>・居宅介護支援事業所 | 質疑応答を行い、病院の相談員と連携を行う事で分からない事を確認し合う事で相互理解を深める事が出来た。 |
| ＜西北圏域＞<br>事例検討会 | 1 | ・居宅介護支援事業所 | 事例検討会を通じてケアマネジャーの支援を継続していく。 |
| ＜西北圏域＞<br>高齢者と障がい者の同一世帯の支援について | 1 | ・校区福祉委員<br>・民生委員<br>・介護事保健業所 | 高齢者と障がい者の同一世帯が近年増えているが、地域や、介護事業はどのように同一世帯を捉え、またどのような機関に繋いだのか等の意見交換を行い、西北圏域地域ケア会議の参考にした。 |
| ＜三中圏域＞<br>圏域内での介護事業所と地域包括の居場所つくりの実現に向けて | 1 | ・校区福祉委員<br>・民生委員<br>・社会福祉協議会 | 圏域の福祉委員と交流を持ち現状を把握し、課題を抽出し、社会福祉協議会と地域包括支援センターが集える場づくりを築く |

西北圏域地域ケア会議<1回(一)>

| 月　日 | 参加機関等 | 主な内容 |
|---|---|---|
| 3月13日 | 三師会・老人ホーム・ケアマネジャー・訪問・民協・介護者の会・老人ホーム・社協CSW | 〈テーマ〉<br>「高齢者と障がい者との同一世帯の支援について」<br>〈会議を受けての今後の取り組み内容等〉<br>・障がい者の相談窓口の一元化・スムーズに連携できる体制づくりについて |

【八中包括】

自立支援型地域ケア会議　<基本　月4回開催>

要支援1．2の新規及び更新プランの内、デイサービス又は、身体介護を伴うホームヘルプサービスを必要とするプランに加え、約3か月間の短期間、集中的に運動機能の向上などを図る短期集中型デイサービスを利用するプランについても、「自立支援型地域ケア会議」に諮ることになりました。

| 開催回数 | 件数 |
|---|---|
| 24 (4) | 65(22) |

個別課題解決型地域ケア会議関係　<13回(4)>

| No | 主たる項目 | 出席機関団体<br>(包括以外) | 方針・結果 |
|---|---|---|---|
| 1 | 退院に向けて、介護保険サービスの内容の確認及び調整、関係機関の調整を図る。 | 本人、ケアマネジャー、介護保険事業所職員、病院MSW | 本人の希望する介護保険サービスを確認し、サービス利用が行われるよう調整をする。 |
| 2 | 本人への支援方針の共有及び支援機関間の役割分担の検討をする。 | ケアマネジャー・介護保険事業所職員 | 各機関の情報を共有し、支援機関の役割分担を行う。在宅生活の可能性、成年後見申立の必要性を確認する。 |
| 3 | 認知症の症状の悪化に伴う支援方針の共有及び支援機関間の役割分担の検討をする。 | ケアマネジャー・介護保険事業所職員 | 医療機関への受診結果の情報共有を行い介護保険サービスの利用を増やし、家族の負担を軽減していくことを確認する。 |
| 4 | 本人の現況に対する情報及び課題の共有を行い、医療機関への未受診への対応を確認する。 | 保健所（精神保健福祉）担当職員、高齢福祉担当職員、障害福祉担当職員、ケアマネジャー、訪問看護師、CSW | 各支援機関での支援経過及び現状と課題を共有。医療機関へ未受診が継続した場合の対応を検討を行い、定期的にカンファレンスを行うことを確認した。 |
| 5 | 認知症の進行により遠方に住んでいる家族との意思疎通が不十分となった方への関係調整を行う。 | 高齢福祉担当職員、ケアマネジャー・介護保険事業所・オレンジチーム、民生委員、自治会長 | 各支援機関での支援経過及び現状と課題を共有。地域（自治会長、民生委員、住民）から本人への関わりに対する意見交換を行い、今後の支援方針を検討、共有をする。 |

| No | 主たる項目 | 出席機関団体<br>（包括以外） | 方針・結果 |
|---|---|---|---|
| 6 | 本人の未受診となったことへの対応及び課題の共有を行い、支援方針の検討をする。 | 保健所（精神保健福祉）担当職員、高齢福祉担当職員、障害福祉担当職員、ケアマネジャー、訪問看護師、CSW | 未受診となったことへの各支援機関の対応結果を共有。今後、医療機関へ未受診だった場合の対応の検討を行う。 |
| 7 | 認知症が疑わる方の施設入所中の配偶者の生活について、家族との調整を行う。 | 本人、家族、民生委員 | 配偶者は、利用料が年金収入の範囲内で賄える施設への入所を検討する。本人は現住所周辺で転居先を探し、生活保護申請の検討をする。 |
| 8 | ケアマネジャーに対する苦情と思われる訴えが増加してきたため、関係調整の検討をする | ケアマネジャー、介護保険事業所職員、民生委員 | 本人の了解の上、民生委員とケアマネジャーが同行訪問し、本人へ介護保険利用に関する説明をする。 |
| 9 | 支援に関する今後の方向性を、家族の見解を含め検討する。 | 家族、ケアマネジャー、介護保険事業所職員、障害福祉サービス事業所職員 | 家族に、在宅生活、施設での生活それぞれのメリット、デメリットを理解してもらい、本人にとって安心して生活できる方策について検討をする。 |
| 10 | 生活現況に対する情報及び課題の共有を行い医療機関へ未受診への対応を確認する。 | 保健所（精神保健福祉）担当職員、高齢福祉担当職員、障害福祉担当職員、ケアマネジャー、訪問看護師、CSW | 各支援機関での支援経過及び現状と課題を共有する。一定期間、支援機関が分担して、本人宅を訪問する。 |
| 11 | 医療機関を未受診する方の今後の支援方針を検討する。 | 保健所（精神保健福祉）担当職員、高齢福祉担当職員、障害福祉担当職員、ケアマネジャー、訪問看護師、CSW | 各支援機関から訪問結果の報告を受け、早急に入院する必要はないと判断し、引き続き、訪問した結果を各支援機関で情報の共有をする。 |
| 12 | 各支援機関の訪問時の様子の情報を共有し、今後の支援方針を検討する。 | 保健所（精神保健福祉）担当職員、高齢福祉担当職員、障害福祉担当職員、ケアマネジャー、訪問看護師、CSW | 各支援機関からの情報を共有、緊急事態が生じた場合の対応策の検討と定期的にカンファレンスをすることを確認する。 |

| No | 主たる項目 | 出席機関団体<br>（包括以外） | 方針・結果 |
|---|---|---|---|
| 13 | 各支援機関の訪問時の様子の情報を共有し、今後の支援方針を検討する。 | 保健所（精神保健福祉）担当職員、高齢福祉担当職員、障害福祉担当職員、ケアマネジャー、訪問看護師、CSW | 各支援機関からの情報を共有、課題の確認を行う。医療保護入院の対応を行う状態ではないと判断する。引き続き、訪問等状況把握を行うことを確認する。 |

ネットワーク型地域ケア会議関係　＜12回(3)＞

| 主たるテーマ | 回数 | 出席機関団体<br>（包括以外） | 会議の内容 |
|---|---|---|---|
| ＜南圏域、西南圏域、八中圏域＞<br>特事の会（特定事業所加算を算定している居宅介護保険事業所の事例検討会） | 3 | 居宅介護支援事業所 | ケアマネジャーからの事例発表及びグループでの事例検討 |
| ＜西圏域＞<br>おとしより110番プロジェクト委員会 | 4 | 医師、薬剤師、ケアマネジャー事業所連絡会、デイサービス連絡会、訪看、民協、介護者の会、地域協、社協CSW | おとしより110番ポスター作製に向けての内容、活用方法の検討及び意見交換 |
| ＜八中圏域＞<br>ケアマネネットワーク会議 | 5 | 居宅介護支援事業所 | ・30年度の取り組みについての検討<br>・事例検討を通じて、利用者への支援等におけるケアマネジャーの悩みについての意見交換<br>・圏域の診療所（医師）とケアマネジャーによる、医療と介護の連携についての意見交換<br>・圏域の校区民生委員・児童委員とケアマネジャーとで、地域（民生委員・児童委員）との連携についての意見交換<br>・総合事業について、高齢介護室からの説明 |

※特定事業所加算とは、質の高い介護サービスを実施している居宅介護保険事業所に対し評価する加算。加算の対象は、厚生労働大臣が定める算定要件を満たしているかによります。

西圏域地域ケア会議<1回（-）>

| 月日 | 参加機関等 | 主な内容 |
|---|---|---|
| 3月12日 | 三師会・ケアマネジャー・デイサービス・訪看・民協・介護者の会、社協CSW | <テーマ><br>「おとしより110番プロジェクト委員会のとりくみ」<br><会議を受けての今後の取り組み内容等><br>完成したポスターを、関係する起案、団体への周知（配布、掲示等）を行い、今後、取り組みの状況についてふりかえりの機会を持つことを確認する。 |

(6) 広報・啓発活動

包括支援センターの業務内容等を関係機関・団体、福祉委員会、来訪者に対して、ニュースレター等を発行して情報発信を行いました。

| 包括名 | 発行月 | 発行部数 | 主な内容 |
|---|---|---|---|
| 三中包括 | 7 | 200 | ・第三中学校圏域地域連携交流会<br>・介護予防「元気なうちに介護予防」<br>・総合事業・短期集中モデル事業について<br>・一人ケアマネ110番について」 |
| | 1 | 200 | ・医療と介護の相互理解を深める　パートⅡ<br>・認知症予防の歌と体操<br>・田井校区福祉員会「敬老のつどい」<br>・北校区福祉委員会「北校区福祉まつり」<br>・地域との連携を深める取り組み<br>・インフルエンザの予防について |
| | 3 | 200 | ・高齢者と障がい者への支援について話し合い<br>・事例検討会<br>・認知症予防は転倒予防<br>・北区あいあいサロンに参加<br>・ふたり暮らし高齢者宅へ同行訪問<br>・「一人ケアマネ悩み110番」開催 |
| 八中包括 | 9 | 200 | ・八中圏域ネットワーク会議報開催告<br>・介護予防の取り組み<br>・地域のサロン参加報告<br>・包括支援センター職員紹介 |
| | 1 | 200 | ・介護予防のとりくみ<br>・ケアマネネットワーク会議開催報告<br>・おとしより110番プロジェクトのとりくみ報告<br>・コラム（インフルエンザについて） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 3 | 200 | ・地域と連携（住民福祉講座＆介護予防講座開催報告、ケアマネネットワーク会議開催報告）<br>・介護予防のとりくみ<br>・出張まちかど・地域のサロン参加報告<br>・おとしより 110 番プロジェクトでのポスター完成 |

(7)各包括独自の取り組み

＜三中包括＞

① シルバー１１０（イチイチゼロ）の取り組み　　協力　49 事業所

第三中学校区及び友呂岐中学校区地域包括支援センターと圏域内の介護保険サービス事業所等が連携し、高齢者の健康問題や介護保険サービスの利用に関して、身近な所で気軽に相談できる窓口のネットワークづくりの一環として実施しています。協力の申し出があった事業所に「シルバー110(イチイチゼロ)」のポスターを掲示していただき、高齢者等からの相談への対応と併せて、地域包括支援センターにつないでいただくことを目的に取り組んでいます。

② 田井校区福祉委員会ふたり暮らし高齢者調査支援活動　　活動回数：5 回（19 件）

田井校区福祉委員会において、今年度よりふたり暮らし調査が行われ福祉委員が再訪問時に担当 CSW と一緒に同行し、見守りシートを作成しています。必要に応じて介護保険や福祉サービスの情報提供を行い、サービスや制度に繋げる事を目的として取り組んでいます。

＜八中包括＞

① 菜園プロジェクトの共同実施　　（実施回数　19 回　延べ参加者 132 人）

包括の敷地内を活用して菜園コーナーとして、介護予防、閉じこもり予防、居場所作りの一貫として、生活困窮者自立支援事業の就労準備支援事業の利用者と一緒に季節の作物の植え付け、収穫を行い調理実習をしました。

＊介護予防：高齢者の参加は、19 回で延べ参加者は 19 人でした。

＊主な活動は、土づくり、苗の植付、水やり、草抜き、植木の剪定、作物の収穫、調理

＊収穫した作物：じゃがいも、にんじん

② おとしより 110 番ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ・・・・ポスター・チラシ　西圏域全体 10,350 部作成

「高齢者が身近にＳＯＳを発信（受信）しやすい地域づくり」を目的に、趣旨を表すポスター等を第二中学校区地域包括支援センターと共催で地域で活動している団体、機関等に参加していただいたプロジェクト委員会を立ち上げて検討してきました。ポスター等を作成し完成、圏域の地域、専門職団体等に配布し周知を行う今後行います。

(8) 地域包括支援センターの地域の拠点としての運用状況

高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの機能をより高めるため、地域の拠点として活用しています。

① 事務所を活用した取組み

| 包括名 | 開放・利用状況 |
|---|---|
| 三中包括 | 西北まちかど福祉相談所　（年間　47回）<br>西北高齢者外出援助サービス・予約受付会場（年間　50回） |
| 八中包括 | 西・点野校区まちかど福祉相談所出張相談会<br>（年間　6回）<br>元気アップ体操教室　（年間　23回）<br>和裁教室　（年間　20回） |

② 社会福祉協議会業務に関する対応状況

それぞれの地域包括支援センターにおいて、ひとり暮らし高齢者台帳、移送サービス・高齢者外出援助サービスの申込書、ボランティア保険・行事保険の申込書などの配付を行っています。

(9) 介護予防支援事業の実施

要支援１．２と認定された人を対象に、予防プランの作成等を実施しています。

| | 三中包括 | | | 八中包括 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 月 | 直作成件数 | 他事業所へ委託件数(原案委託) | 計 | 直作成件数 | 他事業所へ委託件数(原案委託) | 計 |
| 4 | 50（△7） | 178（△20） | 228(△27) | 46(17) | 162(△23) | 208(△6) |
| 5 | 49（△3） | 169（△28） | 218(△31) | 42(9) | 175(△9) | 217(-) |
| 6 | 50(△１) | 177（△7） | 227(△8) | 43(4) | 185(△8) | 228(△4) |
| 7 | 52(2) | 172（△13） | 224(△11) | 45(5) | 182(3) | 227(8) |
| 8 | 48(△2) | 183（3） | 231(１) | 46(4) | 185(11) | 231(15) |
| 9 | 42(△6) | 200（29） | 242(23) | 45(△4) | 176(7) | 221(3) |
| 10 | 39(△13) | 200（22） | 239(9) | 45(△5) | 186(16) | 231(11) |
| 11 | 37(△13) | 209（37） | 246（24） | 46(△10) | 195(23) | 241(13) |
| 12 | 43(△6) | 206（29） | 249(23) | 44(△16) | 175(9) | 219(△7) |
| 1 | 40(△10) | 206（35） | 246(25) | 50(△3) | 173(13) | 223(10) |
| 2 | 39(△11) | 214（43） | 253(32) | 57(-) | 186(22) | 243(22) |
| 3 | 40(△9) | 213（38） | 253(29) | 49(4) | 187(19) | 236(23) |
| 計 | 529(△79) | 2,327(168) | 2,856(89) | 558(5) | 2,167(83) | 2,725(88) |

## 19. 生活困窮者自立支援事業 ＜市からの受託事業＞

生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援事業、住居確保給付金、就労準備支援事業を実施。経済的困窮のみならず、ひきこもりや様々な事情で生活に困っている世帯に支援を行っています。

### (1) 自立相談支援事業

支援プランを作成し計画的な支援を行っています。

#### ① 問合せ・相談件数

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 176(20) | 212(2) | 185(△49) | 176(13) | 212(50) | 185(26) | |
| 相談者数 | 26(△10) | 30(△5) | 35(3) | 31(5) | 39(8) | 41(14) | |
| 月 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 件数 | 221(57) | 210(45) | 180(△20) | 176(3) | 201(12) | 154(10) | 2,288(169) |
| 相談者数 | 44(18) | 38(5) | 29(12) | 29(8) | 25(3) | 36(-) | 403(61) |

#### ② 相談に至る動機

| | 直接 | 広報紙 | ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・新聞等 | CSW・福祉委員 | 市窓口 | 関係機関 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 57(△30) | 11(7) | 30(13) | 56(27) | 151(21) | 60(4) | 38(19) | 403(61) |

#### ③ 相談経路

| | 電話 | 来所 | アウトリーチ等 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 件数 | 801(113) | 1,373(78) | 114(△22) | 2,288(169) |

#### ④ 相談時間

| | 30分未満 | 30分以上1時間未満 | 1時間以上2時間未満 | 2時間以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 1,015(△8) | 809(3) | 383(143) | 81(31) | 2,288(169) |

#### ⑤ 相談者

| | 本人 | 家族 | 関係機関 | 福祉委員 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 1,924(161) | 205(35) | 119(△17) | 21(4) | 19(△14) | 2,288(169) |

#### ⑥ 相談内容（重複有）

| 内容 | 生活費・医療費等の支払い | 公的資金の貸付 | 住居確保給付金 | 就労相談 | 家族・近隣等の関係（ひきこもりの相談を含む） | 緊急支援・制度について・その他（生活保護を含む） | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 463(17) | 490(△21) | 78(△5) | 751(△141) | 378(170) | 734(222) | 2,894(242) |

⑦ 対応

| | 終了 | 継続 | 計 |
|---|---|---|---|
| 件数 | 656(166) | 1,632(3) | 2,288(169) |

＊継続の主な内容…債務整理、就労相談、ひきこもりの相談

⑧ 法に基づく事業等による支援の内訳

プランを立てて支援した件数　154件（23）

⑨ 支援内容（重複有）

| 内容 | 住居確保給付金 | 就労準備支援事業 | 就労訓練事業（中間的就労） | 自立相談支援事業による就労支援 | 生活福祉資金による貸付 | 生活保護受給者等就労自立促進事業 | その他社協の事業による支援 | 地域貢献委員会による支援 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 4(△5) | 22(△4) | -(△1) | 57(△18) | 18(10) | 46(△14) | 66(9) | 3(△10) | 216(△33) |

＊その他社協の事業による支援･･･生活緊急支援金の給付、善意銀行の食品等の払出し

＊地域貢献委員会による支援･･･施設における職場見学・体験・実習、入浴設備の利用

⑩ 支援調整会議の開催（開催回数：12回）

ケース会議で検討・共有したケースについて、プランの適切性の協議、支援提供者によるプランの共有、プラン終結時の評価、社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討を目的に、保護課と枚方ハローワークと月1回開催。支援するプランについての協議や、各機関の情報交換などを行いました。

第1回　4月25日(水)　6人

〔1〕4月におけるプランの状況

〔2〕学習支援事業について

〔3〕枚方ハローワークより情報提供（人事異動の報告など）

〔4〕生活困窮者法律相談の実績報告

第2回　5月23日(水)　6人

〔1〕5月におけるプランの状況

〔2〕学習支援事業について

〔3〕一時生活支援の利用について

〔4〕枚方ハローワークより情報提供（職業訓練や就職説明会などの案内）

〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告

第3回　6月27日(水)　5人

〔1〕6月におけるプランの状況

〔2〕学習支援事業の利用(申込み状況)について

〔3〕一時生活支援の利用報告

〔4〕7月4日の大阪府市町村訪問について

〔5〕枚方ハローワークより情報提供（求職者実績など）

〔6〕生活困窮者法律相談の実績報告

〔7〕 各種団体への就労準備支援の協力依頼について

〔8〕 6月18日におきた大阪北部地震における利用者の安否確認の実施報告

第4回　7月25日(水)　6人

〔1〕 7月におけるプランの状況

〔2〕 学習支援事業の状況について

〔3〕 一時生活支援の利用報告

〔4〕 大阪府市町村訪問の日程変更について

〔5〕 7月26日の庁内連携会議について

〔6〕 枚方ハローワークより情報提供（セミナーの紹介など）

〔7〕 生活困窮者法律相談の実績報告

〔8〕 就労準備支援の取り組みについて

〔9〕 ニュースレターの配布について

〔10〕 平成31年度に向けての検討課題について

第5回　8月29日(水)　6人

〔1〕 8月におけるプランの状況

〔2〕 学習支援事業の進捗状況について

〔3〕 一時生活支援の利用報告

〔4〕 枚方ハローワークより情報提供(マザーズコーナーの移転など)

〔5〕 生活困窮者法律相談の実績報告

〔6〕 平成31年度に向けての検討状況について

第6回　9月26日(水)　6人

〔1〕 9月におけるプランの状況

〔2〕 学習支援事業の平成31年度実施方法について

〔3〕 一時生活支援の利用報告

〔4〕 枚方ハローワークより情報提供(枚方マザーズ出張相談実績など)

〔5〕 生活困窮者法律相談の実績報告

〔6〕 平成31年度に向けて家計改善事業などの努力義務事業について

第7回　10月24日(水)　6人

〔1〕 10月におけるプランの状況

〔2〕 学習支援事業の実施状況について

〔3〕 一時生活支援の実施状況

〔4〕 中核市に伴う認定就労訓練事業の事業所開拓について

〔5〕 枚方ハローワークより情報提供(枚方マザーズ出張相談実績など)

〔6〕 地域貢献委員会　生活困窮者支援報告会の開催報告

〔7〕 生活困窮者法律相談の実績報告

第8回　11月28日(水)　6人

〔1〕 11月におけるプランの状況

〔2〕 学習支援事業の実施状況について

〔3〕 一時生活支援の実施状況

〔4〕 枚方ハローワークより情報提供(仕事に関する電話相談窓口紹介など)

〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告

〔6〕支援会議の設置について

第9回　12月26日(水)　5人

〔1〕12月におけるプランの状況

〔2〕学習支援事業の実施状況について

〔3〕一時生活支援の実施状況

〔4〕次年度の事業について

〔5〕枚方ハローワークより情報提供(シニア向けセミナー、求人情報など)

〔6〕生活困窮者法律相談の実績報告

〔7〕支援会議の設置、家計改善事業との連携のありかたについて

第10回　1月23日(水)　6人

〔1〕1月におけるプランの状況

〔2〕学習支援事業の実施状況について

〔3〕一時生活支援の実施状況

〔4〕枚方ハローワークより情報提供(就職件数の実績など)

〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告

〔6〕支援会議の構成について

〔7〕家計改善事業における連携について

〔8〕事務所移転に伴う支援調整会議の場所確保について

第11回　2月27日(水)　6人

〔1〕2月におけるプランの状況

〔2〕学習支援事業の実施状況について

〔3〕一時生活支援の実施状況

〔4〕枚方ハローワークより情報提供(障害者合同就職面接会の案内など)

〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告

〔6〕事務所移転の案内チラシの配付について

第12回　3月27日(水)　5人

〔1〕3月におけるプランの状況

〔2〕住居確保給付金の予算について

〔3〕枚方ハローワークより情報提供(職業訓練セミナーの案内など)

〔4〕地域貢献委員会との連携について(報告)

〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告

〔6〕ケースワーカーとの連携について

※支援調整会議におけるプラン協議(新規・中止・終了・再プラン)件数　254件(64)

(住居確保給付金7件、自立相談支援事業217件、就労準備支援事業30件、就労訓練事業-件)

⑪ 就労等に関する支援状況

新たに就労した人数　38人(△18)

転職・雇用条件の改善によって増収した人数　5人(3)

⑫ 生活困窮者自立支援相談事業（法律相談）

1 年間の試行的実施を経て、今年度から大阪弁護士会と契約し法律相談を月 1 回実施しています。月 1 回の定例相談だけでなく、電話・メールでの相談や弁護士事務所の同行など支援を行っています。

〔1〕 実相談者数　42 人

〔2〕 相談件数　延べ 293 件

〔3〕 相談内容（重複あり）

・借金（自己破産等）　197 件

・家事（離婚、家の処分等）　39 件

・住宅立ち退き（強制執行等）　5 件

・労働（解雇、賃金未払い等）　2 件

・その他（保険会社の休業補償請求、交通事故、家の任意売却、生活保護等）　50 件

(2) 住居確保給付金事業

離職などにより住まい（借家）を失うおそれのある世帯に対し、家賃相当額を期限付きで支給（市が決定）。問合せや相談、申請受付、支給期間中に就職活動の状況を把握するための定期面談等を行っています。

支給期間は基本 3 か月間。一定の要件を満たせば 3 か月間を延長・再延長で支給します。

〔1〕 相談・問合せ　　45 件（9）

〔2〕 申請件数　　6 件（△1）

〔3〕 支給件数・総額　　6 件（-）　684,000 円（260,000 円）

〔4〕 中止件数　　2 件（-）

(3) 就労準備支援事業

日常生活における自立、地域社会への参加及び就労に向けた準備として、社会体験、職場体験の場など支援プログラムを作成し支援を実施し、社会参加、就労に向けた支援を行っています。

① 支援プログラム内容及び回数

今年度は、グループ活動の他に第八中学校区地域包括支援センターと共同で取り組む「菜園プロジェクト」や、日常生活の自立を目的とした「からだ・きもち・くらし日記」（注１）のプログラムを加えて実施しています。また、地域貢献委員会の福祉施設等の協力を得て３つのコース（お役に立ち隊・やってみ隊・働き隊）を設定し就労に向けて支援をしています。

| 参加人数 | | 内　訳　＊重複あり | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | グループ活動 | お役に立ち隊コース（V体験） | やってみ隊コース（職場体験） | 働き隊コース | 菜園プロジェクト | からだきもちくらし日記 | 就労訓練事業（中間的就労） |
| 男性 | 9(△2) | 5(△1) | 1 (1) | 2 (△4) | 1 (1) | 4(-) | 2(1) | -(△1) |
| 女性 | 9(4) | 7 (3) | - (△1) | 1 (△1) | 1 (1) | 2(2) | -(-) | -(-) |
| 計 | 18(2) | 12(2) | 1 (-) | 3 (△5) | 2 (2) | 6(2) | 2(1) | -(△1) |
| 実施回数 | | 24(-) | 18(12) | 13 (△19) | 2 (2) | 36 (5) | | -(△12) |

| 内訳 | | | |
|---|---|---|---|
| | ボランティア | 1か所<br>1日 | |
| | 地域貢献委員会 | - | 1か所<br>4日 |
| | 一般事業所 | | 2か所<br>9日 |

（注１）日記は、心身の状況やふだんの暮らしの様子などを書くことにより、生活のリズムを可視化することで、支援方針を立て、就労や社会参加をめざした取り組みのひとつとして実施しています。

### (4)　生活困窮者自立支援事業ニュースレターの発行（年２回/各 2,500 部発行）

市役所はじめ病院等の関係機関や団体、組織構成会員や校区福祉委員といった関係者に対して、事業内容を理解してもらうことを目的に発行しています。

| 発行日 | 主　な　内　容 |
|---|---|
| 8月1日 | ニュースレター創刊、生活困窮者自立支援事業ってな～に？、相談者の声 |
| 3月1日 | 地域貢献委員会による支援の取り組み、就労準備支援事業ってな～に？ |

## ２０．生活福祉資金貸付事業＜府社協からの受託事業＞

低所得者世帯等に対し、経済的自立及び生活意欲や社会参加の促進等を図ることを目的に、民生委員の協力を得て資金の貸し付けと必要な相談支援を行っています。

### (1) 生活福祉資金貸付事業

#### ① 相談件数

| 月 | 緊急小口資金 | 総合支援資金 | 臨時特例つなぎ資金 | 福祉資金 教育支援資金 | 不動産担保型 生活資金 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 19(△5) | 7(3) | 2(2) | 45 (17) | 6(6) | 79(23) |
| 5 | 10(△3) | 2(△3) | -(-) | 34(-) | 8(3) | 54(△3) |
| 6 | 44(14) | 10(2) | -(-) | 40(4) | 10(2) | 104(22) |
| 7 | 27(△1) | 2(-) | -(-) | 40(8) | -(△1) | 69(6) |
| 8 | 26(15) | 11(9) | -(-) | 59(33) | -(△5) | 96(52) |
| 9 | 41(27) | 3(2) | -(-) | 58(20) | 2 (△1) | 104(48) |
| 10 | 32(14) | 2(△13) | -(-) | 69(30) | 5(2) | 108(33) |
| 11 | 38(22) | 11(9) | -(-) | 52(22) | 3(1) | 104(54) |
| 12 | 16(7) | 2(△3) | -(-) | 36(7) | -(-) | 54(11) |
| 1 | 21(△2) | 3(3) | -(-) | 29(10) | 3(-) | 56(11) |
| 2 | 23(21) | -(-) | -(△1) | 66(22) | -(△2) | 89(40) |
| 3 | 30(18) | 6(4) | -(-) | 41(6) | -(△4) | 77(24) |
| 計 | 327(127) | 59(13) | 2(1) | 569(179) | 37(1) | 994(321) |

#### ② 貸付件数

| | 緊急小口資金 | 総合支援資金 | 臨時特例つなぎ資金 |
|---|---|---|---|
| 申請 | 22(10) | 3(-) | -(-) |
| 決定 | 16(8) | -(△3) | -(-) |
| 貸付決定額（円） | 1,358,000 (753,000) | - (△1,377,000) | - (-) |

| 教育支援資金 | | 福祉資金 | | 不動産担保型 生活資金 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 生活保護世帯 | 低所得世帯 | 生活必需品（注1） | 福祉費 | | |
| 12(△5) | 22(-) | 25(10) | 5(2) | 3(△1) | 92(16) |
| 12(△5) | 22(-) | 20(9) | 4(2) | 1(△1) | 75(10) |
| 10,133,000 (27,000) | 15,872,000 (△622,000) | 1,030,000 (336,000) | 5,230,000 (3,523,000) | 4,872,000 (△6,209,000) | 38,495,000 (△3,569,000) |

（注１）生活必需品とは、生活保護世帯を対象に健康管理や日常生活に著しい支障をきたす場合において、エアコンや冷蔵庫等の生活必需品を購入するための貸付金

③教育支援資金の案内チラシの配布

教育支援資金の内容や手続きの方法について周知を図るため、市内 12 中学校に協力を依頼し、中学３年生生徒に教育支援資金の案内チラシを配布しました。

・実施回数：１回

・配布数：2,112 部

## ２１．生活緊急支援金給付事業

歳末たすけあい運動の募金を財源に、必要やむを得ない緊急的かつ一時的な理由によって、生活の維持が困難な世帯に対し、支援金の給付と相談援助等の支援を行っています。

### (1) 生活緊急支援金の給付

#### ①月別給付件数及び金額

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 給付件数 | 1(1) | -(△2) | -(-) | 1(1) | 1(△1) | -(-) | |
| 給付金額(円) | 6,000<br>(6,000) | -<br>(△22,000) | -<br>(-) | 3,391<br>(3,391) | 9,523<br>(△14,677) | -<br>(-) | |
| 月 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 給付件数 | 2(1) | -(-) | 1(1) | 1(-) | -(△1) | -(-) | 7(-) |
| 給付金額(円) | 18,858<br>(17,858) | -<br>(-) | 2,887<br>(2,887) | 10,500<br>(7,800) | -<br>(△16,175) | -<br>(-) | 51,159<br>(△14,916) |

#### ②生活困窮のおもな原因

| 失業 | 就労収入減少 | 年金等収入減少 | 疾病 | 扶養援助喪失 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 (1) | 2 (2) | - (-) | 3 (-) | - (△3) | 1 (-) | 7 (-) |

#### ③世帯人員の状況

| 単身 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 (3) | 1 (△2) | -(-) | -(-) | - (△1) | 7 (-) |

#### ④申請者の年齢状況

| 20歳未満 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - (-) | - (△1) | 1 (1) | 1 (△2) | 2(1) | 2 (1) | 1 (-) | - (-) | 7 (-) |

#### ⑤原資の状況

| 項目 | 件数 | 金額 |
|---|---|---|
| ① 前年度末原資残高 | | 4,030,344円 |
| ② 緊急支援金給付金支出 | 7件 | 51,159円 |
| ③ 歳末たすけあい募金助成金収入 | -件 | -円 |
| ④ 指定寄附金収入 | -件 | -円 |
| ⑤ 利息収入 | 2件 | 39円 |
| 年度末原資残高 (①-②+③+④+⑤) | | 3,979,224円 |

## ２２．日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)＜府社協からの受託事業＞

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が十分ではない方々に対して、日常的な金銭管理、福祉サービスの利用援助などの支援を行っています。

### (1) 契約件数および支援回数

| 区分 | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 前年度末契約数(A) | 39(△5) | 17(4) | 58(10) | 114 (9) |
| 新規契約数(B) | 2(△4) | 2(△2) | 5(△7) | 9(△13) |
| 契約終了数(C) | 15(4) | -(-) | 5(3) | 20(7) |
| 年度末契約数(A)+(B)-(C) | 26(△13) | 19(2) | 58(-) | 103(△11) |
| 年間支援回数 | 442(△209) | 426(32) | 2,240(226) | 3,108(49) |
| 契約準備数 | 1(-) | 1(1) | 2(2) | 4(3) |

※契約準備数は３月末時点より、２ヵ月後までに契約締結見込数

### (2) 新規契約の相談経路

| 区分 | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 介護事業所 | 2(△3) | -(-) | -(△3) | 2(△6) |
| 障害福祉課・保護課 | -(-) | -(△1) | -(-) | -(△1) |
| 保健所 | -(-) | -(-) | -(△3) | -(△3) |
| 医療機関 | -(△1) | 1(-) | 2(△1) | 3(△2) |
| 障害者支援機関 | -(-) | 1(1) | 1(-) | 2(1) |
| 地域包括支援センター | -(-) | -(-) | -(-) | -(-) |
| 社会福祉協議会 | -(-) | -(△1) | -(-) | -(△1) |
| 家族・本人 | -(-) | -(△1) | 2(-) | 2(△1) |
| 計 | 2(△4) | 2(△2) | 5(△7) | 9(△13) |

### (3) 契約終了の理由内訳

| | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 死亡 | 4 | - | 1 | 5 |
| 成年後見人等が就任 | 8 | - | 2 | 10 |
| 家族等管理 | 1 | - | - | 1 |
| 施設入所に伴い施設管理等 | 2 | - | - | 2 |
| 自己都合 | - | - | 2 | 2 |
| 計 | 15 | - | 5 | 20 |

### (4) 利用者に対する支援実施状況

#### ① サービス別利用状況

| 区分 | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 利用援助サービス | -(-) | -(-) | -(-) | -(-) |
| 利用援助サービス+金銭管理 | 18(△16) | 9(△1) | 42(△12) | 69(△29) |
| 利用援助サービス+預かりサービス | -(-) | -(-) | -(-) | -(-) |
| 利用援助サービス+金銭管理+預かりサービス | 8(3) | 10(3) | 16(12) | 34(18) |
| 計 | 26(△13) | 19(2) | 58(-) | 103(△11) |

#### ② 性別・世帯状況・生活の場所

| 区分 | | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 男性 | 15(△5) | 13(2) | 37(-) | 65(△3) |
| | 女性 | 11(△8) | 6(-) | 21(-) | 38(△8) |
| 世帯 | 単身者 | 26(△12) | 16(6) | 54(4) | 96(△2) |
| | 夫婦 | -(-) | 2(2) | -(-) | 2(2) |
| | その他 | -(△1) | 1(△6) | 4(△4) | 5(△11) |
| 生活の場所 | 在宅 | 16(△11) | 18(3) | 54(8) | 88(-) |
| | グループホーム | 1(△5) | 1(△1) | -(-) | 2(△6) |
| | 福祉施設 | 9(5) | -(-) | 3(△4) | 12(1) |
| | 病院 | -(△2) | -(-) | 1(△4) | 1(△6) |

※福祉施設：特別養護老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅

#### ③ 経済状況

| 区分 | | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 経済状況 | 生活保護世帯 | 19(△8) | 11(-) | 48(3) | 78(△5) |
| | 所得税非課税世帯 | 7(△5) | 7(2) | 9(△3) | 23(△6) |
| | 所得税課税世帯 | -(-) | 1(-) | 1(-) | 2(-) |

#### ④ 支援計画に基づく１か月あたりの支援回数

| 区分 | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 週１回 | 2(1) | 5(1) | 30(5) | 37(7) |
| 月１回 | 16(△15) | 8(-) | 18(△7) | 42(△22) |
| 隔週 | 2(2) | 3(2) | 3(△1) | 8(3) |
| 月２回 | 1(△6) | 3(△1) | 6(2) | 10(△5) |
| ２か月に１回 | 5(5) | -(-) | 1(1) | 6(6) |
| 合計 | 26(△18) | 19(2) | 58(△1) | 103(△11) |

### (5) 利用者に関する相談・問合せ件数

#### ① 相談・問合せ方法

| 電話 | 来所 | 訪問 | 計 |
|---|---|---|---|
| 1,875(153) | 96(△15) | 27(13) | 1,998(151) |

#### ② 相談経路内訳

| 区分 | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 本人 | 42(8) | 326(23) | 1,592(203) | 1,960(234) |
| 家族 | 1(△2) | -(△1) | 12(△4) | 13(△7) |
| 知人 | -(-) | -(-) | -(-) | -(-) |
| 民生委員・児童委員 | -(-) | -(-) | -(-) | -(-) |
| 介護保険施設 | 7(△28) | -(△1) | -(△8) | 7(△37) |
| その他福祉施設 | -(△2) | -(△4) | 3(△3) | 3(△9) |
| 専門相談機関 | 5(-) | 3(1) | 3(△4) | 11(△3) |
| 行政 | -(△7) | -(-) | 2(△2) | 2(△9) |
| 医療機関 | -(△2) | -(△1) | 2(△11) | 2(△14) |
| その他 | -(△1) | -(△2) | -(△1) | -(△4) |
| 計 | 55(△34) | 329(15) | 1,614(170) | 1,998(151) |

#### ③ 相談・問合せ内容(重複回答)

| 区分 | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 福祉ｻｰﾋﾞｽ利用援助 | 2(△4) | -(△3) | 10(△26) | 12(△33) |
| 日常的な金銭管理 | 32(△32) | 314(77) | 1,344(313) | 1,690(358) |
| 書類などの預かり | -(△1) | -(△1) | 1(△5) | 1(△7) |
| その他生活相談 | 31(15) | 255(182) | 1,284(914) | 1,570(1,111) |
| 成年後見制度関連 | 5(3) | -(-) | 9(8) | 14(11) |
| 計 | 70(△19) | 569(255) | 2,648(1,204) | 3,287(1,440) |

### (6) 申込相談受付・事業問合せ件数

| 区分 | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 既申込相談件数 | 1(1) | -(-) | 1(1) | -(-) | 2(2) |
| 新規相談件数 | 24(15) | 6(3) | 10(△6) | -(-) | 40(12) |
| 事業問合せ件数 | 19(13) | 4(1) | 6(1) | 2(-) | 31(15) |

## ２３．善意銀行事業

市民・団体から寄せられた金品を預かり、必要としている方へ払い出しを行っています。

### (1) 預託・払出の状況

#### ① 現金預託・払出の実施状況

預託　19 件　預託金額　116,462 円(31,943 円)

払出　 6 件　払出金額　226,966 円(142,447 円)

※平成 31 年 3 月 31 日現在の残高金額　1,386,810 円

#### ② 物品預託・払出の実施状況

| | 預託者 | 件数 | 点数 | 主な品名 |
|---|---|---|---|---|
| 預託 | 市民 | 4 | 4 | 物品 4 件<br>紙おむつ（パンツ式）、車イス（介助式）、ポータブルトイレ、ブルーシート<br><br>食品 43 件<br>缶詰、精米、乾麺（うどん）、レトルト食品、スポーツ飲料、水、インスタント麺、 |
| | 団体 | 1 | 1 | |
| | 地域貢献委員会 | 25 | 30 | |
| | 企業 | 12 | 12 | |
| | 匿名 | 5 | 7 | |
| | 合計 | 47(△3) | 54(△6) | |

| | 払出先 | 件数 | 点数 | 主な品名 |
|---|---|---|---|---|
| 払出 | 市民 | 60(10) | 152(13) | 物品 11 件<br>紙おむつ、杖、手押し車、ポータブルトイレ、松葉杖、車イス（介助式）<br><br>食品 49 件<br>精米、インスタント麺、ふりかけ、レトルト食品、水、缶詰、パックごはん、乾麺（うどん）、スポーツ飲料 |

## ２４．法人運営・基盤強化事業

住民を主体とした地域福祉を推進する法人として、経営基盤・運営基盤の強化・発展を図ります。

### (1) 法人運営事業

#### ① 役員会・理事会の開催（開催回数：役員会 12 回・理事会 10 回）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第１回 | 役員会 | ４月 19 日（木） | 出席：役員４人 |
| 第１回 | 理事会 | ４月 25 日（水） | 出席：理事 18 人・監事２人 |

報　告

〔1〕事務局職員人事異動について

議　案

〔1〕役員改選に伴う退任者の処遇について

〔2〕運転協力者（福祉・セダン）認定講習会開催要項について

〔3〕敬老記念式典における表彰者の推薦要領について

〔4〕まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について

〔5〕校区福祉委員会実務担当者・新任福祉委員研修会開催要項について

報　告

〔1〕会員募集中間報告について

〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔5〕後援承認について

〔6〕委員会報告

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第２回 | 役員会 | ５月 11 日（金） | 出席：役員４人 |
| 第２回 | 理事会 | ５月 25 日（金） | 出席：理事 17 人・監事１人 |

専決処分の報告

〔1〕平成 29 年度社会福祉事業補正予算（第１号）について

議　案

〔1〕平成 29 年度事業報告認定について

〔2〕平成 29 年度社会福祉事業決算報告認定について

〔3〕平成 29 年度公益事業決算報告認定について

【平成 29 年度監査報告】

〔4〕評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について

〔5〕定時評議員会について

〔6〕第２次域福祉活動計画の推進委員会設置要綱について

報　告

〔1〕理事候補者の報告について

〔2〕会長及び常務理事職務執行状況報告について

〔3〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔4〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔5〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔6〕委員会報告

| |
|---|
| 第３回　役員会　６月 18 日（月）　出席：役員４人 |
| 第３回　理事会　６月 25 日（月）　出席：理事 20 人・監事２人 |

議　案
〔1〕各種専門委員会委員の選任について
〔2〕役員改選に伴う退任者の処遇について
〔3〕第１回家族介護者交流事業開催要項について
〔4〕運転協力者現任研修会開催要項について
〔5〕敬老記念式典における表彰者の推薦について
報　告
〔1〕ひとり暮らし高齢者数について
〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について
〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について（５月申請給付件数０件）
〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔5〕委員会報告

| |
|---|
| 第４回　役員会　７月 18 日（水）　出席：役員４人 |
| 第４回　理事会　７月 25 日（水）　出席：理事 19 人・監事２人 |

議　案
〔1〕歳末たすけあい運動実施要項について
〔2〕第２次寝屋川市地域福祉活動計画「未来福祉ねやがわプラン」未来福祉デザイン会議設置要綱について
報　告
〔1〕敬老記念式典における表彰者の決定について
〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について
〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について（６月申請給付件数０件）
〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔5〕後援承認について
〔6〕委員会報告

| |
|---|
| 第５回　役員会　８月 27 日（月）　出席：役員４人 |

議　案
〔1〕第２回家族介護者交流事業開催要項について
〔2〕ねやがわ市民ふくし講座「あなたに生きがいはありますか？」開催要項について
報　告
〔1〕生活困窮者自立支援事業ニュースレター８月１日号の配布について
〔2〕緊急時安否確認に関する状況把握について

〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔5〕後援承認について
〔6〕委員会報告

| |
|---|
| 第６回　役員会　９月 19 日（水）　出席：役員４人<br>第５回　理事会　９月 25 日（火）　出席：理事 21 人・監事２人 |

議　案
〔1〕第２回家族介護者交流事業開催要項について
〔2〕ねやがわ市民ふくし講座「あなたに生きがいはありますか？」開催要項について
〔3〕福祉広報研修会「読まれる・伝わる広報紙をつくろう」開催要項について
報　告
〔1〕緊急時安否確認に関する状況報告について
〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔4〕後援承認について
〔5〕委員会報告

| |
|---|
| 第７回　役員会　10 月 17 日（水）　出席：役員４人<br>第６回　理事会　10 月 25 日（木）　出席：理事 21 人・監事２人 |

議　案
〔1〕役員及び評議員管外研修会開催要項について
〔2〕平成 31 年度社会福祉協議会会員募集実施要項について
〔3〕校区福祉委員指導者研修会「地域福祉活動のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう　その３」開催要項について
〔4〕まちかど福祉相談員現任研修会「困ったときは支えあい！困りごとに早く気づきあえるポイントって？」開催要項について
〔5〕ボランティア講座（基礎Ⅱ）「自助具作成ボランティア養成講座」開催要項について
報　告
〔1〕会長及び常務理事職務執行状況報告について（４～９月分）
〔2〕歳末たすけあい運動街頭募金の日程について
〔3〕緊急時安否確認に関する状況報告について
〔4〕生活緊急支援金給付状況報告について
〔5〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔6〕委員会報告
その他
〔1〕寝屋川市民生委員児童委員協議会より「子育て応援プロジェクト～赤ちゃんは泣くものだよ～」について（依頼）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第８回 | 役員会 | 11 月 13 日（火） | 出席：役員４人 |
| 第７回 | 理事会 | 11 月 26 日（月） | 出席：理事 20 人・監事２人 |

議　案

〔1〕中間監査報告について

〔2〕歳末たすけあい運動募金配分計画について

〔3〕ボランティア講座シニア編「認知症ケアに大切な“受容”と“理解”を学ぶ講座」開催要項について

〔4〕ボランティア講座基礎Ⅰ「多世代で楽しめるワクワク手作り遊具づくり」開催要項について

〔5〕ボランティア講座基礎Ⅰ「防災の視点で考える地域での支えあいとボランティア活動」開催要項について

報　告

〔1〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔4〕後援承認について

〔5〕委員会報告

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第９回 | 役員会 | 12 月 18 日（火） | 出席：役員４人 |
| 第８回 | 理事会 | 12 月 25 日（火） | 出席：理事 20 人・監事２人 |

議　題

〔1〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について

〔2〕地域支え合い推進員の配置について

〔3〕ボランティア活動見本市開催要項について

〔4〕第３回家族介護者交流事業開催要項について

〔5〕子育てサロン担当者交流会開催要項について

〔6〕未来福祉ねやがわプラン話し合いの場づくり「しゃべり場」の実施方針及び開催要項について

報　告

〔1〕赤い羽根共同募金運動実績報告について

〔2〕歳末たすけあい運動の街頭募金の実績報告について

〔3〕台風 21 号（９月４日）被害における災害支援活動報告について

〔4〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔5〕生活緊急支援金給付状況の報告について（11 月申請給付件数０件）

〔6〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔7〕後援承認について

〔8〕委員会報告

その他

〔1〕Club E&T より「第５回寝屋川ハート・アート展」のチラシ配布について（依頼）

| 第10回　役員会　1月28日（月）　出席：役員４人 |
|---|

議　案

〔1〕平成31年度ひとり暮らし高齢者調査実施要項について

〔2〕公式ホームページ及びSNSページ運用方針について

報　告

〔1〕歳末たすけあい運動募金実績報告について

〔2〕緊急時安否確認に関する状況把握について

〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔5〕後援承認について

〔6〕委員会報告

| 第11回　役員会　2月18日（月）　出席：役員４人 |
|---|
| 第９回　理事会　2月25日（月）　出席：理事20人・監事２人 |

議　案

〔1〕公益事業補正予算（第２号）について

報　告

〔1〕平成31年度福祉体験学習説明会の開催について

〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔5〕平成31年度年間行事予定・地域献血日程について

〔6〕委員会報告

| 第12回　役員会　3月８日（金）　出席：役員４人 |
|---|
| 第10回　理事会　3月15日（金）　出席：理事18人・監事２人 |

議　案

〔1〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部変更について

〔2〕平成31年度事業計画について

〔3〕平成31年度社会福祉事業予算について

〔4〕平成31年度公益事業予算について

〔5〕第２回評議員会の開催について

報　告

〔1〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について（２月申請給付状況０件）

〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔4〕後援承認について

〔5〕委員会報告

② 評議員会の開催（開催回数：2回）

| |
|---|
| 第1回　評議員会　6月14日（木）<br>出席：　評議員38人・理事18人・監事2人 |

専決処分の報告

〔1〕平成29年度社会福祉事業補正予算（第1号）について

議　案

〔1〕平成29年度事業報告承認について

〔2〕平成29年度社会福祉事業決算報告承認について

〔3〕平成29年度公益事業決算報告承認について

【平成29年度監査報告】

〔4〕理事の選任について

| |
|---|
| 第2回　評議員会　3月29日（金）<br>出席：　評議員37人・理事18人・監事2人 |

専決処分の報告

〔1〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会公益事業補正予算（第1号）について

〔2〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業補正予算（第1号）について

〔3〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会公益事業補正予算（第2号）について

議　案

〔1〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部変更について

〔2〕平成31年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事業計画について

〔3〕平成31年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業予算について

〔4〕平成31年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会公益事業予算について

報　告

〔1〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔2〕平成31年度年間行事予定・地域献血日程について

③ 役員・評議員候補者選任区分別会議の開催（開催回数：3回）

一部校区福祉委員会で校区福祉委員長の交代のため開催しました。

【区分1】校区福祉委員会　　5月9日（水）第1研修室　出席：24人

一部委員より退任の意向があったため開催しました。

【区分4】当事者組織・団体　　5月22日（火）社会福祉協議会会議室　出席：7人

【区分5】関係機関・団体　　6月11日（月）社会福祉協議会会議室　出席：7人

④ 評議員選任・解任委員会の開催（開催回数：1回）

定款に基づき、評議員選任・解任委員会を設置し、評議員の選任を行いました。

第1回　6月8日（金）　出席3人

⑤ 社協運営委員会の開催（開催回数：5回）

社協の運営にかかわる諸問題のうち、会長が運営委員会での検討を要すると認めた事項について、その課題解決の方向性等について検討し、必要に応じて役員会に報告、又は提案を行います。

第1回　5月18日（金）　出席7人

議　案

〔1〕第2次地域福祉活動計画推進委員会設置要綱について

〔2〕歳末たすけあい運動の配分方法の再検討

〔3〕地域福祉課題の把握～ひとり暮らし高齢者調査の課題と展開～

第2回　6月25日（月）　出席5人

議　案

〔1〕歳末たすけあい運動の配分方法について

〔2〕敬老記念式典における表彰者推薦枠について

第3回　10月25日（木）　出席7人

議　案

〔1〕歳末たすけあい運動の配分について

第4回　11月22日（木）　出席6人

議　案

〔1〕　歳末たすけあい運動募金配分計画の修正について

〔2〕　地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）業務の受託について

〔3〕　平成30年度社会福祉事業補正予算（第1号）について

〔4〕　食堂「虹」の営業期間の変更について

第5回　12月17日（月）　出席7人

議　案

〔1〕地域支え合い推進員の配置について

⑥ 組織構成会員募集の実施

地域の各種団体や福祉関係者の参加を得て地域福祉活動を広範にすすめていくために組織構成会員を募集し、157の団体や施設の加入がありました。

(2) 地域貢献委員会の運営支援

組織構成会員の社会福祉法人47団体で構成される地域貢献委員会の事務局を担い、運営の支援を行います。

① 地域貢献委員会役員会の開催（開催回数：4回）

第1回　7月9日（月）　出席：5人

議　案

〔1〕大阪府内の地域貢献委員会（施設連絡会）情報交換会の開催について

〔2〕今後の活動について

〔3〕生活困窮者支援報告会について

〔4〕その他

第２回　８月３日（金）　出席：４人

議　案

〔1〕地域貢献委員会研修会について

〔2〕生活困窮者支援報告会について

〔3〕チョット寄ってん家の今後の予定

〔4〕その他

第３回　11 月 14 日（水）　出席：４人

議　案

〔1〕平成 31 年度「チョット寄ってん家」の開所について

〔2〕企画委員会の開催について

〔3〕地域貢献委員会研修会について

〔4〕生活困窮者支援報告会について

〔5〕今後の予定について

〔6〕その他

第４回　３月 11 日（月）　出席：７人

議　案

〔1〕平成 31 年度総会について

〔2〕「チョット寄ってん家」の取り組みについて（各分野からの報告）

〔3〕その他

**②　地域貢献委員会企画委員会の開催（開催回数：１回）**

第１回　１月 24 日（木）　11 人

議　題

〔1〕平成 31 年度「チョット寄ってん家」開所について

〔2〕その他

**③　研修会の開催（開催回数：２回）**※アウトリーチ型研修助成金を活用しました。

第１回　　開催日　１月 24 日（木）

場　所　保健福祉センター５階　会議室１・２

内　容　「地域福祉活動のタテ×ヨコ×ナナメ連携を考えよう～施設編～」

講　師　同志社大学　教授　永田　祐　氏

参加者　35 人（31 法人）

第２回　　開催日　３月 19 日（火）

場　所　保健福祉センター５階　会議室１・２

内　容　「未来福祉ねやがわプラン推進のために社会福祉法人に期待すること」

講　師　関西大学　教授　所　めぐみ　氏

参加者　27 人（26 法人）

④ 生活困窮者支援報告会の実施

開催日　10月12日（金）

場　所　保健福祉センター５階　会議室１・２

内　容　食品支援や就労支援等の実施状況の報告・意見交換など

参加施設数　28施設

⑤ “チョット寄ってん家”の取り組み　※「大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会連携推進助成事業」助成金を活用しました。

実施日　４月２日（月）～６日（金）
５月１日（火）～９日（水）
６月１日（金）～７日（木）
７月２日（月）～６日（金）
８月１日（水）～３日（金）
９月３日（月）～５日（水）　（ただし、９月４日は台風のため中止）
10月２日（火）～４日（木）
11月１日（木）～５日（月）
12月３日（月）～６日（木）
１月７日（月）～11日（金）
２月４日（月）～８日（金）
３月４日（月）～８日（金）
※土日祝日除く

時　間　正午から午後５時まで（福祉相談は午後２時から午後５時）

場　所　桜撫庵　長屋門スペース

内　容　①児童分野・・・保育園児の作品展示と福祉相談（スマイルサポーター）
②高齢分野・・・福祉相談
③障害分野・・・障害者作業所で作成した物品の販売

来店者数：554人　相談件数：２件　協力スタッフ数：196人

⑥ 地域貢献委員会総会の開催

開催日　３月19日（火）

場　所　保健福祉センター５階　会議室１・２

内　容　〔1〕平成30年度　事業報告について
〔2〕平成30年度　決算報告について
〔3〕平成30年度　会計監査報告
〔4〕役員改選について
〔5〕平成31年度　事業計画（案）について
〔6〕平成31年度　予算（案）について

(3) 財源確保事業

① 会員募集の実施

〔1〕 住民賛助会費　　18,140,773 円（△495,043 円）

〈住民賛助会員：会員区分別金額・口数表〉　　（金額単位：円）

| 区分 | 一　般 | 特　別 | 賛　助 | 特別賛助 | 名　誉 | 特別名誉 | 協力費 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 金額 | 10,049,000 | 971,000 | 258,000 | 456,000 | 315,000 | 480,000 | 5,611,773 | 18,140,773 |
| 口数 | 20,098 | 971 | 129 | 152 | 63 | 48 | | 21,461 |

〔2〕 組織構成会員会費　　735,000 円（前年比　-円増）

（法人 117・未法人 30：計 147 事業所・団体）

② その他財源確保に関する取り組みの実施

〔1〕 福祉基金（目標額：3 億円）

平成 29 年度末の福祉基金額　　216,654,452 円

平成 30 年度基金の積立額　　2,097,219 円

平成 30 年度末の福祉基金額　　218,751,671 円

〔2〕 一般寄附金

平成 30 年度の寄附金額　　298,480 円（寄附件数 14 件）

(4) 実習生の受入れ

社会福祉士等資格取得を目指す学生の受入れを行いました。

豊岡短期大学　　1 人

大阪医療専門学校　2 人

大阪市立大学　　1 人

関西大学　　1 人

大谷大学　　1 人

計 6 人

(5) 短期インターンシップ生の受入れ

社会福祉協議会の活動の理解と関心を持ってもらうため、大阪府社会福祉協議会と連携して短期インターンシップ生（大学 1 回生～2 回生）の受入れを行いました。

関西大学　　1 人

大阪大谷大学　　1 人

計 2 人

## ２５．研修事業

地域福祉を推進するため最新の福祉施策や制度・サービス、地域福祉活動の動向を学び、本市の地域福祉活動に活かすことを目的に実施、又は参加しました。

### (1) 役員（理事・監事）・評議員研修

①役員（理事・監事）評議員研修の実施

開催日　11月28日（水）

場　所　大津市社会福祉協議会

内　容　若年層に対して寄り添い型の支援を実施している大津市社会福祉協議会の取り組みについて

参加者　34人

### (2) 職員研修

① 総務課、地域福祉課、生活支援課共通

| No. | 研修名（内容） | 日数 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 1 | 寝屋川市新任採用職員研修 | 6 | 3 |
| 2 | 市町村社協新任職員研修会 | 5 | 3 |
| 3 | 地域福祉のコーディネーターのための基礎研修 | 5 | 4 |
| 4 | 社会福祉法人会計の簿記入門・初級講座 | 7 | 1 |
| 5 | 市町村社協中堅職員研修会 | 1 | 2 |
| 6 | 会計管理者・担当者研修会 | 1 | 1 |
| 7 | 共生・福祉のまちづくり（ｿｰｼｬﾙｲﾝｸﾙｰｼﾞｮﾝ）研修会 | 1 | 6 |
| 8 | ファシリテーション研修　基礎編 | 4 | 2 |
| 9 | 寝屋川市要保護児童対策地域協議会研修会 | 1 | 5 |
| 10 | 寝屋川市福祉部研修 | 1 | 14 |
| 11 | 働き方改革への対応策セミナー | 1 | 1 |
| 12 | ＣＳＷ実践のための課題別事例研究（第３回） | 1 | 2 |
| 13 | ＣＳＷマイスター研修会 | 2 | 1 |
| 14 | ＣＳＷスキルアップ研修（専門研修Ⅱテーマ別①） | 1 | 1 |
| 15 | 災害ボランティアコーディネーター研修会 | 1 | 1 |
| 16 | ＣＳＷスーパーバイザー実践連続講座 | 2 | 1 |
| 17 | ＣＳＷスキルアップ研修（専門研修Ⅱテーマ別②） | 1 | 1 |
| 18 | 北河内ブロックCSW連絡協議会 | 1 | 2 |
| 19 | 小地域ネットワーク活動リーダー研修会 | 1 | 1 |
| 20 | 市町村ボランティア連絡会研修交流会 | 1 | 1 |
| 21 | ソーシャルワーク・コラボinおおさかセミナー | 1 | 2 |
| 22 | 地域包括支援センター基礎研修 | 2 | 1 |
| 23 | 高齢者虐待対応基礎研修 | 1 | 2 |
| 24 | 介護予防・日常生活支援総合事業（モデル事業）を通じた実証事業に係る中間報告会 | 1 | 2 |

| No. | 研修名（内容） | 日数 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 25 | 介護予防・日常生活支援総合事業（モデル事業）を通じた実証事業に係る報告会 | 1 | 2 |
| 26 | 主任介護支援専門員更新研修 | 8 | 2 |
| 27 | 寝屋川市地域ケア研究会「在宅医療・介護分野における情報共有のあり方を考える」研修 | 1 | 1 |
| 28 | 大阪府訪問看護ステーション協会北河内ブロック・関西医科大学附属３病院連携研修 | 1 | 1 |
| 29 | 依存症対応力向上関係機関職員研修 | 1 | 1 |
| 30 | 地域包括支援センター職員研修 | 1 | 2 |
| 31 | 地域包括支援センター職員課題別研修 | 1 | 2 |
| 32 | ギャンブル等依存症予防セミナー | 1 | 2 |
| 33 | 成年後見における申立ての実務研修会 | 1 | 1 |
| 34 | 認知症サポーター養成講座 | 1 | 6 |
| 35 | 短期集中通所サービス報告会 | 1 | 3 |
| 36 | 地域包括支援センター実践能力向上研修会 | 1 | 2 |
| 37 | ひきこもり支援について考えるセミナー | 1 | 2 |
| 38 | 「きこえない高齢者の暮らしとコミュケーション」 | 1 | 1 |
| 39 | 地域包括職員向け権利擁護研修 | 1 | 2 |
| 40 | 高齢者虐待対応研修 | 1 | 2 |
| 41 | 日常生活自立支援事業新任者研修会 | 2 | 3 |
| 42 | 生活困窮者自立支援における家計相談支援について | 1 | 1 |
| 43 | 生活困窮者自立支援制度人材養成研修 | 6 | 1 |
| 44 | 大阪府生活困窮者自立支援制度従事者研修 | 3 | 4 |
| 45 | 第30回近畿弁護士会連合会人権擁護大会シンポジウム | 1 | 1 |
| 46 | 府社協主催　平成30年度生活困窮者自立支援事業研修会 | 1 | 1 |
| 47 | 平成30年度大阪府生活保護自立支援研修 | 1 | 1 |
| 48 | 全国校区・小地域福祉活動サミットin　豊中 | 1 | 3 |
| 計 | | 88 | 106 |

## ２６．福利厚生事業

市民へのサービスと職員の福利厚生を図るとともに自主財源の確保を目的に、総合センター内において食堂「虹」及び自動販売機設置の運営等を行ってきました。６月 18 日に発生しました大阪北部地震により、平成３１年３月末で総合センターが閉館となり、営業の再開が見込めないことなどにより検討を行った結果、食堂「虹」の運営は 12 月末、自動販売機設置は、３月末で終了することとなりました。

### (1) 食堂「虹」の運営

【月別運営状況】

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 営業日数（日） | 24<br>(-) | 25<br>(-) | 28<br>(1) | 22<br>(△3) | 20<br>(△3) | 17<br>(△8) |
| 来店者数（人） | 2,632<br>(△86) | 2,916<br>(△22) | 3,044<br>(△520) | 2,263<br>(△673) | 2,158<br>(△377) | 1,702<br>(△1,257) |
| 営業収入（円） | 1,827,910<br>(△6,975) | 1,991,215<br>(△33,995) | 2,154,175<br>(△376,985) | 1,501,885<br>(△554,650) | 1,444,375<br>(△302,425) | 1,149,135<br>(△897,760) |

| 月 | 10 | 11 | 12 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 営業日数（日） | 22<br>(△3) | 22<br>(△3) | 20<br>(△4) | 200<br>(△98) |
| 来店者数（人） | 2,292<br>(△486) | 2,175<br>(△1,272) | 2,098<br>(△402) | 21,280<br>(△13,456) |
| 営業収入（円） | 1,529,455<br>(△418,345) | 1,504,190<br>(△912,430) | 1,601,755<br>(△156,075) | 14,704,095<br>(△9,808,120) |

### (2) 自動販売機設置　９台（総合センター1 階：５台、２階：２台、４階：２台）

自動販売機設置収入（４～３月）　　3,483,863 円

## ２７．大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営

赤い羽根共同募金運動の実施、共同募金配分申請の受付事務等を行っています。

### (1) 共同募金配分申請の受付

共同募金配分申請について周知し、施設・団体等から申請の受付を行いました。

周　知　　機関紙「虹」（５月１日号）

受付件数　５件

### (2) 共同募金配分決定

配分件数　３件

## ２８．第２次地域福祉活動計画『未来福祉ねやがわプラン』の推進

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、市民や団体等によるさまざまな福祉活動の計画的な推進を図る第２次地域福祉活動計画「未来福祉ねやがわプラン」を推進しました。また推進にあたり、推進委員会の開催、未来福祉デザイン会議の開催、しゃべり場の開催、加えてそれぞれについての事務局検討会議を実施しました。

### (1) 地域福祉活動計画推進委員会の開催　（開催回数：2回）

推進委員会は、校区福祉委員会、自治推進協議会、民生委員児童委員協議会などの住民組織や、ボランティアセンター、当事者団体、NPO法人など、市内の地域福祉活動の中心的な役割を担っている団体の代表者と、寝屋川市地域貢献委員会の代表、関係行政機関の職員、学識経験者など、16人の委員で構成しました。計２回の推進委員会で、推進委員会の役割や未来福祉デザイン会議についての検討など、計画の進捗管理や評価の役割を担いました。

第１回　９月28日（金）　13人出席
[1] 委員長・副委員長の選出
[2]「未来福祉ねやがわプラン」の概要について
[3]未来福祉ねやがわプラン」推進委員会の役割と、未来福祉デザイン会議との関係について
[4]社会福祉協議会の主な取り組みについて

第２回　３月19日（火）　11人出席
[1]未来福祉ねやがわプラン」の進捗状況について（報告）
[2]次年度に向けて

### (2) 未来福祉デザイン会議の開催　（開催回数：3回）

未来福祉デザイン会議は、高齢者・児童・障害者分野の社会福祉法人や、NPO法人、ボランティアセンター運営委員会など、市内の地域福祉活動の中心的な役割を担っている団体の代表者と、知識経験者、福祉・教育行政機関の職員など、12人の委員で構成しました。計３回のデザイン会議で、計画に基づき、新たな仕組みづくりに向けた企画を行いました。

第１回　10月17日（水）　12人出席
[1]委員長・副委員長の選出
[2]「未来福祉ねやがわプラン」の概要について
[3] 未来福祉デザイン会議の役割と、推進委員会との関係について
[4] 意見交換

第２回　11月８日（木）　11人出席
[1] 企画のすすめ方について（説明）
[2]しゃべり場の取り組みについて（説明）
[3]しゃべり場の検討

第３回　１月31日（木）　12人出席

[1]しゃべり場「未来福祉ねやがわ」の進捗状況について（報告）

[2]助成金について（検討）

### (3)しゃべり場の開催　（開催回数：１回）

「福祉・ボランティアの層や輪を広げる」ことを目的に、大学生などの若者を対象に、広い分野・視点で社会を変える活動や多様な問題・課題に挑戦している社会起業家などを囲み、自分と社会との接点やかかわり方について話し合う「しゃべり場」を開催しました。

第１回　「自分の未来をデザインする～３人の社会起業家・実践者と社会貢献について考える～」

開催日　３月５日（火）

会　場　大阪電気通信大学 駅前キャンパス

内　容　[1]セッション１ 活動紹介「こんな社会貢献活動しています！」

[2]セッション２ しゃべり場「わたしたちの社会貢献活動について考えよう！」

[3]今後のしゃべり場について

参加者　41人

講　師　(有)ビッグイシュー日本 代表　佐野　章二　氏

サイクルサッカー日本代表（株式会社パシフィックサプライ）　村上　裕亮　氏

特定非営利活動法人「芽ばえ」 理事長　園田　茂香　氏

### (4)事務局検討会議の開催　（開催回数：38回）

社協事務局の職員が中心となって、推進委員会、未来福祉デザイン会議、しゃべり場、助成金についての検討会議を開きました。

## ２９．災害被災地支援活動

### (1) 市内での災害支援活動

① 「大阪北部地震」での被災に関する市民から相談に対し、校区福祉委員の協力のもと対応しました。

相談件数　21 件（うち対応　21 件）

対応内容　家具の移動、片づけ、情報提供など

② 「台風 21 号」での被災に伴う屋根へのブルーシート張りに対する相談に対し、ひとり暮らし高齢者を対象に、市内ボランティアの協力のもと、支援の対応を行いました。

相談件数　50 件（うち対応　33 件）

対応内容　ブルーシート張り等　　14 件

情報提供（キャンセル含む）　　19 件

### (2) 「大阪北部地震」における職員の派遣

6 月 18 日に発生した大阪北部地震の被災地に対し、大阪府社会福祉協議会並びに市町村社会福祉協議会連合会からの「府内市町村社会福祉協議会職員の応援派遣要請」に基づき、職員の派遣を行いました。

① 高槻市社会福祉協議会

日　時　6 月 23 日～24 日、7 月 5 日、7 月 9 日～16 日、計 11 日

人　数　延べ 11 人（実派遣職員 9 人）

② 枚方市社会福祉協議会

日　時　6 月 25 日、6 月 28 日～7 月 3 日

人　数　延べ 7 人（実派遣職員 4 人）

③ 茨木市社会福祉協議会

日　時　7 月 4 日

人　数　1 人

### (3) 「平成 30 年 7 月豪雨災害」における職員の派遣

7 月豪雨による水害被害に見舞われた被災地に対し、「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会の災害時の相互支援に関する協定」、及び全国社会福祉協議会の被災地支援の決定に基づき、職員の派遣を行いました。

① 第 2 クール　岡山県高梁市社会福祉協議会（7 月 24 日～7 月 28 日、1 人）

② 第 13 クール　岡山県倉敷市社会福祉協議会（9 月 8 日～9 月 12 日、1 人）